

初級

アイヌ語

美幌



財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

はじめに

この本は、アイヌ語を読んで、書いて、簡単な文法がわかるなど、アイヌ語を学ぶための初歩的な力をつけることを目的に作りました。難しい用語はなるべく使わず、どうしても必要な場合には説明をくわえました。

文法の学習にくわえ、「なぞなぞ」や「となえごと」などの伝統的な言葉あそびや、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載して、楽しみながら単語や文章を身につけられるようにしています。

本文に掲載した例文は、実際にアイヌ語の語り手が話したものも一部にありますが、大部分は新しく作ったものです。各ページで説明したい内容を盛り込むために、短く単純な言いまわしにしてあります。

アイヌ語の発音は日本語と異なるところがあり、特に難しい所はお手本となる音声を聞きながら学習することが欠かせません。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように例文や単語、言葉あそび、歌などを発音した音声資料を作りました。収録に協力してくださったのは、ふだんは日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた人々です。一般に言葉を学ぶときには、生まれつきその言葉を使っている人から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうした自然なアイヌ語の音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから音声資料を作成しました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、次のステップとしてこれまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を通じ、自然なアイヌ語の文に触れることをおすすめします。巻末に、この本を作る上で参考にした資料をまとめていますので、そちらも参照してください。

【執筆・編集担当（五十音順）】

北原次郎太、楠本克子、高橋規、高橋靖以、八谷麻衣

【音声収録（五十音順）】

小笠原小夜、加納ルミ子、川村このみ、木村君由美、豊川容子、八谷麻衣、村上恵、山本りえ

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

凡例

- ・アイヌ語の表記は『アコロイタケ』(北海道ウタリ協会 1994)に概ね準じた。例文は全てカタカナ・ローマ字の併記とした。解説中の例は必要に応じてローマ字を記載し、他はカタカナのみとした。なお、カタカナは音声の連続や変化を反映させて、実際に発音される音声を理解しやすいように、ローマ字は辞書検索がしやすいように個々の語を境界ごとに区切って示した。
- ・例文を作る際、アイヌ語として一般によく知られた言葉でも方言によっては該当する語彙が確認できないことがあった。その場合は他方言を参照して想定される語を用いるか、造語で対処し、斜体で示した。
- ・例文に地名を使用した箇所がある。アイヌ語地名には、1つの地名について語源の解釈とそこから想定される形が複数あることが少なくない。このため、例文中では現行の漢字による地名表記をそのまま用いた。その他、海外の地名、日本語の語彙についても同様に、一般に用いられている形をそのまま用いた。
- ・アクセントを説明する際、アクセント位置を ■ で示した。
- ・各課の例文で、その課の学習項目に該当する箇所は太字・下線で示した。
- ・例文のほか、口承文学や学習用に考案した歌を掲載している。これらについては美幌方言に限定せず、様々な方言を取りまぜて構成した。
- ・例文に逐語訳をつける代わりに、全出現語彙の訳、品詞を表示したリストを作成し、『中級アイヌ語』の巻末に掲載した。

アイヌ語美幌方言 初級編 目次

はじめに	3	12	カタカナ表記2 子音の書き方	30
凡例	5	13	カタカナ表記3 表記練習	32
音節表	10	14	単語を覚えよう3	34
1 アイヌ語の表現を 覚えて使おう	12	15	言葉あそびで覚えよう3 阿寒のとなえごと	35
2 発音とアクセント1 アイヌ語の五十音	14	16	ローマ字表記1	36
3 発音とアクセント2 音の種類と組み合わせ	16	17	ローマ字表記2 子音の書き方	38
4 発音とアクセント3 子音の発音	18	18	ローマ字表記3 表記練習	40
5 単語を覚えよう1	20	19	ローマ字表記4 y と w	42
6 言葉あそびで覚えよう1 十勝のなぞなぞ	21	20	単語を覚えよう4	44
7 発音とアクセント4 子音の発音 y と w	22	21	言葉あそびで覚えよう4 阿寒・登別のとなえごと	45
8 発音とアクセント5 子音の連続	24	22	発音と表記のまとめ1	46
9 単語を覚えよう2	26	23	文のかたち1 「～が～する」 平叙文	48
10 言葉あそびで覚えよう2 白老・十勝のなぞなぞ	27	24	文のかたち2 「～は～しない」 否定文	50
11 カタカナ表記1	28	25	単語を覚えよう5	52
		26	言葉あそびで覚えよう6 沙流・千歳の鳥のききなし	53

- 27 文のかたち3 「～は～かい？」
疑問文 …………… 54
- 28 人称について学ぶ1
「私が、君が～する」
ク・エの使い方 …………… 56
- 29 単語を覚えよう6 …………… 58
- 30 言葉あそびで覚えよう6
美幌・オオカミを呼ぶ歌 …………… 59
- 31 文のかたち4 「AはBだ」
ネの使い方 …………… 60
- 32 文のかたち5 「～しなさい」
命令文 …………… 62
- 33 文のかたち6 「～するな」
禁止命令文 …………… 64
- 34 単語を覚えよう7 …………… 66
- 35 言葉あそびで覚えよう7
旭川・イヌを呼ぶ歌 …………… 67
- 36 人称について学ぶ2
「私たちが～する」 アシの使い方 68
- 37 人称について学ぶ3
「私たちが、君たちが～する」
チ・エチの使い方 …………… 70
- 38 人称について学ぶ4
「私たちが～する」
ア・アンの使い方 …………… 72
- 39 単語を覚えよう8 …………… 74
- 40 言葉あそびで覚えよう8
アイヌ語かぞえ歌 …………… 75
- 41 数に関する表現1 …………… 76
- 43 数に関する表現2 …………… 78
- 43 動詞の単数複数1
「ひとりで、おおぜいで～する」… 80
- 44 動詞の単数複数2
「ひとりで、おおぜいで～する」
完全に形が変わるタイプ …………… 82
- 45 単語を覚えよう9 …………… 84
- 46 言葉あそびで覚えよう9
美幌のポンチカッポオイナ …………… 85
- 47 動詞の単数複数3
「ひとりで、おおぜいで～する」
「ン」から「フ」に変わるタイプ …… 86
- 48 動詞の単数複数4
「ひとりで、おおぜいで～する」
母音が「パ」に変わるタイプ …… 88
- 49 単語を覚えよう10 …………… 90
- 50 言葉あそびで覚えよう10
幌別・沙流のとなえごと …………… 91
- 51 「どうぞ～なさい」
丁寧な命令文 …………… 92

- 52 人稱について学ぶ5
「私を～」 「私たちを～」
エン・ウンの使い方……………94
- 53 人稱について学ぶ6
「君を～」 「君たちを～」
エ・エチの使い方……………96
- 54 「私のところに」 「君のそばに」
位置名詞と人稱……………98
- 55 単語を覚えよう11……………100
- 56 言葉あそびで覚えよう11
数のかけ合いあそび……………101
- 57 「いつ？」 の聞き方……………102
- 58 「だれが？」 の聞き方……………104
- 59 「どこで？」 「どこへ？」 「どこから？」
の聞き方……………106
- 60 「なに？」 「いくつ？」
の聞き方……………108
- 61 単語を覚えよう12……………110
- 62 言葉あそびで覚えよう12
アイヌ語版「うさぎとかめ」……………111
- 63 「なぜ？」 「どのように？」
の聞き方……………112
- 64 「すごいなあ！」 の言い方
感嘆文……………114
- 65 人稱について学ぶ7
「～なさる」 「～していらっしゃる」
人稱による敬稱表現……………116
- 66 単語を覚えよう13……………118
- 67 言葉あそびで覚えよう13
人稱接辞の歌……………119
- 68 「～という」 の言い方
アニを使った引用……………120
- 69 「～して」 「～ので」 の言い方
つなぎの言葉……………122
- 70 「私の手」 「君の手」 の言い方
所有表現1……………124
- 71 「私の～」 「君の～」 の言い方
所有表現2……………126
- 72 単語を覚えよう14……………128
- 73 言葉あそびで覚えよう14
からだの歌……………129
- 74 「私の兄さん」 「君のおじさん」
家族の言い方……………130

- 75 「～した」「～している」
「これから～する」の言い方…… 132
- 76 「～できる」「～できない」
の言い方…………… 134
- 77 「～してください」「～してみる」
「～したい」の言い方…………… 136
- 78 単語を覚えよう15…………… 138
- 79 言葉あそびで覚えよう15
アイヌ語版「赤鼻のトナカイ」 139
- 参考文献…………… 140

アイヌ語(北海道方言)の音節の一覧

【母音】

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

【子音+母音】

カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		トウ	テ	ト
チャ	チ	チュ	チエ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユル	イエ	ヨ
ラ	リ		レ	ロ
ワ	ウイ		UE	ウオ

【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ	イシ	ウシ	エシ	オシ
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ	イリ	ウル	エレ	オロ
アウ	イウ		エウ	オウ

【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ	キシ	クシ	ケシ	コシ
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ	キリ	クル	ケレ	コロ
カウ	キウ		ケウ	コウ

アイヌ語(北海道方言)の音節の一覧

【母音】

a	i	u	e	o
---	---	---	---	---

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	wi	wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK)+母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

ステップ1 アイヌ語の表現を覚えて使おう

【勉強を始める前に】

- 1 イランカラナテ。エイワンケ ア? / イッソロレ。エイワンケ ア?
irankarapte. e=iwanke a? / issorore.e=iwanke a?
こんにちは。お元気ですか?
- 2 クイワンケワ。タント シリセセクフミ ネ。
ku=iwanke wa. tanto sirseseke humi ne.
元気です。今日は暑いですね。
- 3 ウトゥラノ アイヌイタクアネイワンケ ロク。
uturano aynuitak an=eywanke rok.
みんなで一緒にアイヌ語を使いましょう。

【休憩時間に】

- 1 イルカイ シニアン ロク。
irukay sini=an rok.
少し休憩しましょう。
- 2 アンクックホククスクオマンナンコロ。
ankup ku=hok kusu ku=oman nankor.
飲み物を買に行ってきます。

【勉強を終えた後に】

- 1 ヤイトウパレノ オシッパアン。
yaytupare no osippa an.
気を付けて帰りなさい。
- 2 イヤイライケレ。スイ ウヌカラアン ロク。
iyayraykere. suy unukar=an rok.
ありがとう。また会いましょう。

☆講座や教室での始まり、終わり、休憩時間に使えるアイヌ語表現を覚えましょう。それぞれの単語の意味や文法的な決まりごとは、これから少しずつ学んでいきます。まずは、日常的によく使える表現をまるごと覚えて暗記し、元氣よく声に出して使えるようにしましょう。

☆合わせて、次のような表現も覚えましょう。

タント シリピリカ。

tanto sirpirka.

今日は天気がいい。

タント レラ ユプケ。

tanto rera yupke.

今日は風が強い。

タント ルアンペ アシ。

tanto ruanpe as.

今日は雨が降っている。

スネ アレ アン。

sune are an.

灯りをつけなさい。

スネ ウシカ アン。

sune uska an.

灯りを消しなさい。

ステップ2 発音とアクセント1 アイヌ語の五十音

☆アイヌ語には、日本語とは違う発音の方法があります。

アイヌ語独特の発音について、少しずつ勉強していきましょう。

☆「音節表（カタカナ）」を見てみましょう。

日本語のアイウエオ、「五十音表」によく似たものが書かれています。

「音節表」を見ながら、ひとつひとつ順番に発音してみましょう。

アイウエオの発音は日本語とほぼ同じですが、ウの音だけは少し唇を丸め、舌を口の奥に引いた状態で発音します。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ

タ行は、日本語のタチツテトとは少し違います。

チの音は、チャ行と一緒に書かれています。

日本語のツにあたる音は、ごく僅かな方言を除いて基本的にありません。

日本語にはない「トゥ」という音があります。英語のトゥディ Today「今日」のトゥのような発音です。

発音してみましょう。

タ		トゥ	テ	ト
チャ	チ	チュ	チェ	チョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ

アイヌ語には、日本語の力行とガ行、サ行とザ行、タ行とダ行のように、「にごる音」と「そうでない音」の区別はありません。

例 アイヌ語 シンキ「～が疲れる」

シンギと発音しても意味は同じ

日本語 シンキ「新規」

シンギと発音すると「審議」という別の言葉。

但し、ハ行だけは、ハとパをはっきり区別します。パ行とバ行は区別しません。
発音してみましょう。

ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ

例 ハンケ「～が近い」とパンケ「川下のところ」は、違う言葉
フンペ「クジラ」はフンベと発音しても意味は同じ。

マ行からワ行までを発音してみましょう。

イエ、ウエ、ウォの3つの音に注意してください。イエは英語のイエン yen「円」
のイエのように、ウエはウェブサイトのウエ、ウォは韓国の通貨ウォンやウォ
ンバットのような発音です。

マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ	イエ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ウィ		ウエ	ウォ

☆今回練習した「一つの音」だけでも、単語として意味のあるものがあります。

よく使う単語を中心に、意味を覚えましょう

エ	「～が～を食べる」
ク	「～が～を飲む」
ニ	「木」
ヌ	「～が～を聞く」
ミ	「～が～を着る」
レ	「名前」

ステップ3 発音とアクセント2 音の種類と組み合わせ

☆アイヌ語の発音を少しずつ練習するために、まず次の言葉を覚えましょう。

母音 子音

☆「音節表」を見ましょう。

a、i、u、e、o（アイウエオ）という5つの音を母音といいます。

ka（カ）、sa（サ）のところには、母音 a の前にそれぞれ k と s が付いています。カ行のカ、キ、ク、ケ、コは、母音は a、i、u、e、o と変わりますが、その前にはどれも k が付いています。

サ行のサ、シ、ス、セ、ソをみると、やはり母音は a、i、u、e、o と変わりますが、その前には同じ s が付いています。

このような k、s のことを、子音といいます。「音節表」をみると、カ行からワ行まで全部で11の子音があることがわかります。

☆ア、イ、ウ、エ、オのような《母音》と、カ、サのような《母音の前に子音が付いたかたち》の音とが二つ以上続く言葉を発音してみましょう。

パケ	pake	「頭」
ヌマ	numa	「毛」
アパ	apa	「戸」
アペ	ape	「火」
スマ	suma	「石」
ノヤ	noya	「ヨモギ」
スプヤ	supuya	「煙」
チセ	cise	「家」
エカシ	ekasi	「おじいさん」
スマリ	sumari	「キツネ」
ヌプリ	nupuri	「山」
キナチャ	kinaca	「～がガマを刈る」
イテセニ	iteseni	「ござを編むための木製の台」

(学習のポイント)

☆アイヌ語の単語にも、アクセントというものがあります。

(注意：美幌方言ではアクセントの区別ははっきりとしません)。

アイヌ語のアクセントは、日本語の「箸 (はし)」と「橋 (はし)」と同じように高いか低いかによるもので、高く言うところを指して「アクセントがある」と言います。

よく使う言葉でその違いを確かめてみましょう。

例 アイヌ aynu ⇒ アクセントがあるのは最初のアです。

カムイ kamuy ⇒ アクセントがあるのは二番目のムです。

この「ステップ3」で学ぶ単語は、どれも「最初の音が低くて、二番目の音が高い」タイプのアクセントをもつ単語です。そのことを意識してもう一度発音してみましょう。

☆アクセントがどこに置かれるかについては、大まかな決まりがあります。

その決まりについては「中級アイヌ語」で勉強します。

ステップ4 発音とアクセント 3 子音の発音

☆アイヌ語には、日本語とは違う発音がいくつもあります。

ステップ2で学んだ英語のトゥディ Today 「今日」のようなトゥという音の他に、例えば次のようなものがあります。

フチ あんぱん ホク。 「おばあさんがアンパンを買う」

huci あんぱん hok.

この「ホク」は、「ホク」でも「ホック」でもなく「ホク」と発音します。「ホッカイドウ（北海道）」と発音するときの「ホッ」と言う部分はその音になります。

次の音を意識的に発音してみましょう。

ホク ホック ホッカイドウ ホク

hoku hokku hokkaidou hok

次の日本語をゆっくりと発音してみましょう。

ほっとする ほっかいどう

自分の口の中の舌の動きを意識して発音すると、二つの「ほっ」を発音するとき、舌の位置が違うことに気がきます。

ほっとする ⇒ 舌は歯茎についています。

ほっかいどう ⇒ 舌は歯茎についていません。

アイヌ語の「ホク」は、この「ほっかいどう」というときの音「ほっ」の音です。

☆アイヌ語には、この「ホク」のように、日本語ではあまり使われない音があります。

音節表を見ながら、発音してみましょう。

アム am 「爪」

日本語で「あんぱん」というときの「あん」という発音です。「あんぱん」の「ぱん」とは違って、くちびるの上下が閉じることを意識して発音しましょう。

アシ as 「立つ」

日本語の「足」のようにシをはっきりと発音せずに、アのほうを少し強めにして「アシ」と発音します。

カフ kap 「皮」

日本語で「カップ」というときに、パを言う手前で止めたときのような発音です。「コーヒーカップ」のようにプをはっきり発音せず、最後はくちびるを閉じます。

カラ kar 「～が～を作る」

ピリ pir 「傷」

クル kur 「～の人」

ケレ ker 「靴、はきもの」

コロ kor 「～が～を持つ」

日本語のラ行の音（ラ、リ、ル、レ、ロ）のようなはっきりとした音ではなく、発音する人によって多少違う音に聞こえるあいまいな音です。前の音より少し弱く発音するため、前の母音が響いて「ラ」や「リ」に近く聞こえることもあります。

ステップ5 単語を覚えよう1

- 1 ピリカ pirka 「～が良い」
- 2 ウエン wen 「～が悪い」
- 3 ポロ poro 「～が大きい」
- 4 ポン pon 「～が小さい」
- 5 タンネ tanne 「～が長い」
- 6 タクネ takne 「～が短い」
- 7 ルウエ ruwe 「～が太い」
- 8 アネ ane 「～が細い」
- 9 ハンケ hanke 「～が近い」
- 10 トウイマ tuyma 「～が遠い」

☆表記についてはステップ11以降に学ぶので、ここでは音を聞いて発音して覚える事を目指しましょう。

ステップ6 言葉あそびで覚えよう1

十勝地方のなぞなぞ

- ① チャロ カイ イサム、シキ カイ イサム、テケ カイ イサム、
チキリ カイ イサム、ホニ トクセ ワ アン ペ ネ プ ネ ヤ？
caro kay isam, siki kay isam, teke kay isam,
cikiri kay isam, honi tokse wa an pe nep ne ya?
口もなく 目もなく 手もなく
足もなく おなかがふくれているものなんだ？

答えは 141 ページ

- ② アラカシ コロ ペ ネ プ ネ ヤ？
arkas kor pe nep ne ya?
片小屋 持つ もの なんだ？

☆ヒント：アラカシとは片流れの屋根をもつ簡単な野営用の小屋のことです。体の中でこれに似た場所が答えです。

答えは 141 ページ

☆ここで紹介するなぞなぞは吉田巖「アイヌ謎々集(前・後編)」に基づいています。

ステップ7 発音とアクセント4 子音の発音 yとw

☆アイヌ「人間」というときの「イ」は、ひとつひとつの音をはっきりと発音して「ア・イ・ヌ」というのではなく、「アイ・ヌ」のように「イ」の前の音につなげて発音します。

同じような「イ」には、次のようなものがあります。

ヌイナ	nuyna	「～が～を隠す」
オイラ	oyra	「～が～を忘れる」

このような「イ」をカタカナで書くときに、はっきりと発音する「イ」と分けて小さく書いている本もあります。

例	イオマンテ	iomante	「クマなどの霊送り」
	アイヌ	aynu	「人間、男性」

このテキストでは、カタカナで書くときは、どちらも同じ「イ」で表記します。ローマ字で書く場合には、この二つの「イ」を書きわけます（詳細はステップ19）。

例	イオマンテ	iomante
	アイヌ	aynu

☆同じように「ペウレ」(若い)というときの「ウ」も、ひとつひとつの音をはっきりと発音して「ペ・ウ・レ」というのではなく、「ペウ・レ」のように「ウ」を前の音につなげて発音します。

同じような「ウ」には、次のようなものがあります。

ハウケ	hawke	「～が安い」
ラウネ	rawne	「～が深い」

このような「ウ」をカタカナで書くときに、はっきりと発音する「ウ」と分けて小さく書いている本もあります。

例	ウタリ	utari	「仲間、親戚」
	ペウレ	pewre	「若い」

このテキストでは、カタカナで書くときは、どちらも同じ「ウ」で表記します。ローマ字で書く場合には、この二つの「ウ」を書きわけます(詳細はステップ19)。

例	ウタリ	utari
	ペウレ	pewre

ステップ8 発音とアクセント5 子音の連続

☆ステップ7で練習した「フチ あんぱん ホク」の「ホク」のような音の後に、さらに別の音が続くと、発音が難しくなります。練習してみましょう。

「ホク」の「ク」の音の後ろに、別の音が続く

マクタ	makta	「後ろに」
アクペ	akpe	「わな」
オクスツ	oksut	「首すじ、うなじ」

「アム」の「ム」の音の後ろに、別の音が続く

オムケ	omke	「～がせきをする」
コムニ	komni	「カシワの木」
アムセツ	amset	「寝台」

「アシ」の「シ」音の後ろに、別の音が続く

レタシケブ	retaskep	「和え物料理」
キシマ	kisma	「子どもを抱き締める」
ケシト	kesto	「毎日」

「カブ」の「ブ」音の後ろに、別の音が続く

タブスツ	tapsut	「肩」
レブニ	repni	「拍子木」
ポブケ	popke	「暖かい」

小さい「ラ・リ・ル・レ・ロ」の音の後ろに、別の音が続く

アラワン	arwan	「7つの～」
シリカ	sirka	「表面」
モウル	mour	「女性用の肌着」
レレコ	rerko	「3日間」
コロコニ	korkoni	「フキ」

「アットウシ」の「ツ」の音は、日本語の「あっと驚く」の「っ」に似た音ですが、その後ろに別の音が続くことで、少し発音しづらく感じる単語もあります。

ホツネ	hotne	「20個の～」
サツチェブ	satcep	「干し魚」
マツネポ	matnepo	「女の子」

「スンケ sunke 「～がうそをつく」のような「ン」の音は、あまり日本語との違いを意識しなくてもかまいません

シンタ	sinta	「揺りかご」
ランケ	ranke	「～が～を上から下に下げる」
スンケ	sunke	「～がうそをつく」

☆はじめのうちは「マク・タ」のように小文字の後ろで区切って練習すると、楽に発音できます。

ステップ9 単語を覚えよう2

- | | | | |
|----|------|--------|---------|
| 1 | パセ | pase | 「～が重い」 |
| 2 | コシネ | kosne | 「～が軽い」 |
| 3 | リ | ri | 「～が高い」 |
| 4 | ラム | ram | 「～が低い」 |
| 5 | イロンネ | ironne | 「～が厚い」 |
| 6 | カパラ | kapar | 「～が薄い」 |
| 7 | セセク | sesek | 「～が熱い」 |
| 8 | ヤム | yam | 「～が冷たい」 |
| 9 | ポプケ | popke | 「～が暖かい」 |
| 10 | メアン | mean | 「～が寒い」 |

ステップ10 言葉あそびで覚えよう2

白老地方のなぞなぞ

- ① レタラセタウコイキレヲヘマンタアン?

retar seta ukoykire p hemanta an?

白いイヌをケンカさせるものなんだ?

☆ヒント：からだのある部分をさす言葉。

答えは141 ページ

十勝地方のなぞなぞ

- ② ケナシノシケタフレコンチエパウシワアンペネヲネヤ?

kenas noske ta hure konci epausi wa an pe nep ne ya?

林の真ん中で赤い帽子をかぶってるものなんだ?

☆ヒント：根は薬になり、時期を選んで食べるとおいしい。

答えは141 ページ

☆ここで紹介するなぞなぞは吉田巖「アイヌ謎々集(前・後編)」に基づいています。

ステップ11 カタカナ表記1

☆アイヌ語は、カタカナやローマ字を基本にしながら独自のルールに則って表記します。

カタカナを使ってアイヌ語を表記するにはいろいろな方法があります。これまでに、アイヌ語をカタカナを使って書き残そうとした人はさまざまな方法を試みてきました。それぞれに特徴や優れた点があります。

このテキストは、さまざまな表記法の中から『アコロイタク』（北海道ウタリ協会＝現在の北海道アイヌ協会 1994年）の表記法をベースにしています。

☆いろいろな表記法がありますが、どれにも長所と短所があります。どの表記法を使うにせよ、音声を聞いて正しい発音を学ぶことが欠かせません。

「音節表」を見てみましょう。

日本語で「ホッとひと安心」と書くときの「ッ」のように、字の大きさを少し小さめに書くカタカナが、アイヌ語の一般的なカタカナ表記にはたくさんあります。

フチ あんばん ホク。「おばあさんはあんばんを買った」

このような「ク」は、普通の「ク」と区別して、一般的に「小さいク」などと呼ばれています。

「話すってという意味のアイヌ語のイタクのクって、どう書くんだっけ?」「小さいクを使って、イタクだよ」というように使われます。

☆カタカナ表記に少しずつ慣れるために、まずは、小さいカタカナを使わないで表記できる単語を書いてみましょう。

トマ	「ござ」
ハウエ	「～の声」
イペ	「～が食事をする」
スマ	「石」
シナ	「～が～を縛る」
オヤ	「別の」
ノカ	「模様」
エカチ	「子ども」
コタン	「集落」
ソンノ	「本当に」
パルンペ (チャルンペ)	「くちびる」
ノカン	「～が小さい」
アイヌ	「人間」
カムイ	「神」
オワウ	「具のたくさん入った汁」
カペウ	「カモメ」

☆よく使われる単語なので、意味を合わせて覚えましょう。

ステップ 12 カタカナ表記 2 子音の書き方

☆小さいカタカナを使って表記する単語を書いてみましょう。

カタカナは、全ての文字が小さくなるわけではありません。小さいカタカナの数は限られています。まず「音節表」を見て確認してみましょう。

「フチ あんばん ホク」という「ホク」を、普通のクで表記するか、小さいクを使って表記するかは、その単語の発音と深い関係があります。詳しいことはローマ字表記（ステップ 17）で紹介しますが、まずはひとつひとつの単語について、発音とカタカナ表記をセットにして覚えていきましょう。

小さいラ、リ、ル、レ、ロは一般的に次の①～③のどれかに則って表記されるのが通例です。

- ①聞えたとおりに表記⇒聞こえ方でユカラと書いたりユカルと書く
- ②どう聞こえても、共通にル⇒ユカル、ピルカ、モコル
- ③どう聞こえても、前の母音に従って表記

アラ イリ ウル エレ オロ

このテキストでは、③のルールで表記します。ただしこれは「表記のルール上、そうする」というだけで、実際の発音とは違います。

☆小さいカタカナを使って表記する言葉を発音してから、書いてみましょう。

・小さいム

アム「爪」 キム「山」 スム「油」 セム「土間」 モム「流れる」

※なお、フンベ「クジラ」やサンベ「心臓」などの「ン」の音は、上の小さいムと同じ音です。ですから本来はフムペやサムペと書くべきですが、ンの音は後ろにパ行が続いていると自然に小さいムの音で発音されます。むしろフムペと書く方が、実際と違った発音になりかねないので、このような場合は「ン」で表記します。

- ・小さいシ
アシ「～が立つ」 チシ「～が泣く」 クシ「～が通る」 ケシ「端」 ホシ「脚絆」
- ・小さいク
マク「後ろ」 キク「～が～を叩く」 ウク「～が～を取る」 テク「手」 ポク「～の下」
- ・小さいプ
カプ「皮」 チプ「舟」 トupp「二つ」 レプ「三つ」 オプ「槍」
- ・小さいツ
マツ「女性」 ニツ「棒」 クツ「帯」 セツ「檻」 コツ「くぼみ」

☆小さいプ、ク、ツの違いに注意して発音してから、カタカナで書いてみましょう。

サク 「～が～を欠く」
 サツ 「～が乾く」
 サプ 「～が下る（複数形）」

タク 「～が～を招く」
 タツ 「シラカバの皮」
 タプ 「肩」

☆小さいラリルレロを使って書いてみましょう。

カラ 「～が～を作る」
 キリ 「動物の骨の髄」
 クル 「～の人」
 ケレ 「靴」
 コロ 「～が～を持つ」

ステップ13 カタカナ表記3 表記練習

☆良く使われる単語の発音と、小さいカタカナの混じった表記法を練習しましょう。

単語の意味も併せて覚えましょう。

アイヌイタク	aynuitak	「アイヌ語」
シサムイタク	sisamitak	「日本語」
カムイチェブ	kamuycep	「鮭」
サツチェブ	satcep	「干し魚」
トゥレブ	turep	「オオウバユリ」
レタシケブ	retaskep	「和え物料理」
ユクカム	yukkam	「鹿の肉」
キケパラセイナウ	kikeparseinaw	「削りかけが広がった木幣」
ウレシバ	urespa	「育て合う」
ケシト	kesto	「毎日」
アットウシ	attus	「樹皮製の着物」
カパラミブ	kaparamip	「上等の着物」
コタンコロカムイ	kotankorkamuy	「シマフクロウ」
パシクル	paskur	「カラス」

チプ	cip	「舟」
チェブ	cep	「魚」
パイカラ	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
チュク	cuk	「秋」
マタ	mata	「冬」
タント	tanto	「今日」
ヌマン	numan	「昨日」
ニサッタ	nisatta	「明日」
アンミブ	anmip	「着物」
チタラペ	citarpe	「ござ」
サラニブ	saranip	「網み袋」

ステップ 14 単語を覚えよう 3

1	カムイ	kamuy	「クマ」
2	ユク	yuk	「シカ」
3	チロンノプ	cironnop	「キツネ」
4	モユク	moyuk	「タヌキ」
5	シタ	sita	「イヌ」
6	エサマン	esaman	「カワウソ」
7	エルムン	erumun	「ネズミ」
8	オイヌイ	oynuy	「テン」
9	イソポ	isopo	「ウサギ」
10	タンネカムイ	tannekamuy	「ヘビ」

ステップ 15 言葉あそびで覚えよう 3

阿寒地方のおまじない

◇歯が抜けたとき

エピリカイマキ エンコレ。クウェニマキ エコレアンナ。

e=pirkaimaki en=kore. ku=wenimaki e=kore=an na.

あなたの良い歯をちょうだい。私の悪い歯をあげるよ。

☆子どもの歯が抜けると、丈夫な永久歯が生えるようにと願いを込めてとなえごとをします。上の歯が抜けた時は縁の下へ、下の歯が抜けた時は屋根の上へ投げ上げながらこの言葉をとなえます。

☆このとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 16 ローマ字表記 1

☆アイヌ語を表記するのに、カタカナとともによく使われるのがローマ字です。

ローマ字は、アイヌ語の仕組みをより良く理解するためには非常に有効なものです。

まず「音節表」を見て、ローマ字に慣れましょう。

アイヌ語の表記には、アイウエオという5つの母音を示す a、i、u、e、o と、カ行、サ行、タ行などをあらわす子音としての k、s、t、c、n、h、p、m、y、r、w の 11 文字、合計 16 文字のアルファベットを組み合わせて使います。

どのローマ字がどの音に対応するかに慣れましょう

(例えばマミムメモのマ行を表すときは、子音の m と 5 つの母音とを組み合わせる、など)

「音節表」を見ながら、ローマ字を書いてみましょう。

a	i	u	e	o
ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	wi	wu	we	wo

☆一つの音でも、意味のある単語として成り立っているものがたくさんあります。

よく使われる単語の意味を、併せて覚えましょう。

a	「～が座る」
e	「～が～を食べる」
ka	「糸」
ku	「弓」
su	「鍋」
se	「～が～を背負う」
so	「滝」
ta	「～が～を掘る（オオウバユリの根茎など）」
tu	「2つの」
to	「湖」
ni	「木」
nu	「～が～を聞く」
hu	「生の」
ma	「～が～を焼く」
mi	「～が～を着る」
ya	「網」
ye	「～が～を言う」
ru	「道」
re	「名前」

ステップ17 ローマ字表記2 子音の書き方

☆「フチ あんばん ホク」の「ホク」のようにカタカナ表記で小さく書く単語を、ローマ字で書いてみましょう。

「ホク」をローマ字で表記して、「ホク」のローマ字表記との違いを見てみると、次のようになります。

ホク	hok	「～が～を買う」
ホク	hoku	「～の夫、だんなさん」

「小さいカタカナ」を使って「ク」と書いた部分は、ローマ字表記では「k」と表記します。ステップ16で学んだ「ク」のローマ字表記である「ku」と違って、母音をあらわす「u」は書きません。

カタカナで「アツカ」と書く単語と、「アプンノ」と書く単語を、ローマ字で表記してみましょう。

アツカ	apka	「オスのシカ」
アプンノ	apunno	「静かに」

「小さいカタカナ」を使って「プ」と書いた部分は、ローマ字表記では「p」と表記します。ステップ16で学んだ「プ」のローマ字表記である「pu」と違って、母音をあらわす「u」は書きません。

☆このように、小さいカタカナを使って表記する音をローマ字で表記するときは、母音を書かないで子音だけを書きます。

小さいカタカナを使って「ラ、リ、ル、レ、ロ」と書く音は、母音を書かないで子音だけ書くので、全て「r」で表記することになります。

☆このルールにのっとして、ローマ字表記の練習をしましょう。

t	クツ	kut	「帯」
	サツ	sat	「～が乾く」
	タツ	tat	「シラカバの皮」
m	サム	sam	「～のそば」
	トム	tom	「～が光る」
s	クシ	kus	「～が～を通る」
	プシ	pus	「～がはじける、～が破裂する」
k	サク	sak	「～が～を欠く」
	キク	kik	「～が～を叩く」
	テク	tek	「手」
p	チェブ	cep	「魚」
	カプ	kap	「皮」
	ネプ	nep	「何」
r	カラ	kar	「～が～を作る」
	ピリ	pir	「傷」
	クル	kur	「人」
	ケレ	ker	「靴、はきもの」
	コロ	kor	「～が～を持つ」

ステップ 18 ローマ字表記 3 表記練習

☆ステップ 6 で発音を練習した単語を、ローマ字の表記のルールを意識しながら、もう一度ローマ字で表記してみましょう。

小さい「ク」を k で表記する。

マクタ	makta	「奥に」
アクペ	akpe	「わな」
オクスツ	oksut	「首すじ、うなじ」

小さい「ム」を m で表記する。

オムケ	omke	「～が風邪をひく」
コムニ	komni	「カシワの木」
アムセツ	amset	「寝台」

小さい「シ」を s で表記する。

レタシケプ	retaskep	「和え物料理」
キシマ	kisma	「～が～を抱き締める」
ケシト	kesto	「毎日」

☆小さい「プ」を p で表記する。

タプスツ	tapsut	「肩」
レプニ	repni	「拍子木」
ポプケ	popke	「暖かい」

☆「カラ」のような小さい「ラリルレロ」を r で表記する。

アラワン	arwan	「7つの～」
シリカ	sirka	「表面」
モウル	mour	「女性用の肌着」
レレコ	rerko	「3日間」
コロコニ	korkoni	「フキ」

☆小さい「ツ」を t で表記する。

ホツネ	hotne	「20個の～」
サツチエプ	satcep	「干し魚」
マツネポ	matnepo	「娘」

ステップ19 ローマ字表記4 yとw

☆なじみのある単語を、ローマ字で表記してみましょう。

☆ステップ7で触れたように、アイヌやカムイなど、母音がふたつ連続で続くときは後ろの母音を軽く発音します。このような音を表記するときは、ainu、kamui と書かずに aynu、kamuy のように「y」を使います。

同じような例で、次のようなものがあります。

y : スイ	suy	「また、再び」
トイ	toy	「土」
ライ	ray	「～が死ぬ」
w : ハウ	haw	「声」
マウ	maw	「空気」

アイヌ	aynu	「人間」
カムイ	kamuy	「神」
コタン	kotan	「村、集落」
イクパスイ	ikupasuy	「御神酒の箸」

ウポポ	upopo	「歌」
リムセ	rimse	「踊り」
イケウ	ikkew	「腰」
チェブ	cep	「魚」
コタンコロカムイ	kotankorkamuy	「シマフクロウ」
アイヌイタク	aynuitak	「アイヌ語」
シサムイタク	sisamitak	「日本語」
ヤムワッカ	yamwakka	「冷たい水」
シリセセク	sirsesek	「(気候が) 暑い」

ステップ 20 単語を覚えよう 4

1	フンペ	humpe	「クジラ」
2	レプンカムイ	repunkamuy	「シャチ」
3	エタシペ	etaspe	「トド」
4	ピパセイ	pipasey	「カワシンジュガイ」
5	シリカブ	sirkap	「カジキマグロ」
6	シペ	sipe	「サケ」
7	イチャヌイ	icanuy	「マス」
8	サマムペ	samanpe	「カレイ」
9	ハムパヤヤ	hanpayaya	「カニ」
10	エロクシ	erokus	「タラ」

ステップ21 言葉あそびで覚えよう4

阿寒地方

◇湯治の前のとなえごと

セセッカコロカムイ エンキヌイケシ。

seseccakorkamuy en=kipnuykes.

温泉の神様 私を助けてください。

☆温泉がわく地域では、湯治の習慣がありました。温泉の神様をセセッカコロカムイやヌコロカムイと呼んで、湯治をはじめる前に声をかけてあいさつしました。屈斜路では、イナウを捧げて祈ってから入湯することもあります。

☆キヌイケシは東部の言い方で、西部ではキヌウケシといいます。

登別地方

◇雁が飛ぶのを見たときのとなえごと

エムシ エンコレ。 タマ エンコレ。

emus en=kore. tama en=kore.

刀 私におくれ。 玉 私におくれ。

☆初冬に雁や白鳥などの渡り鳥がやってくるのを見ると子どもたちはこのような歌を歌いました。刀は男性の宝物、玉は女性の宝物の代表でした。

☆このとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 22 発音と表記のまとめ 1

☆次の単語を、ローマ字表記を見て音の違いに注目しながら、発音してみましょう。

《-kk-と -tk-》

w <u>ak</u> ka	ワッカ	「水」	o <u>kk</u> ayo	オッカヨ	「男性」
ka <u>t</u> kat	カッケマツ	「上品な女性」	ho <u>t</u> ke	ホッケ	「横になる」

《-pp-と -tp-》

ce <u>pp</u> o	チェッポ	「小魚」	ce <u>p</u> pake	チェッパケ	「魚の頭」
mi <u>t</u> po	ミッポ	「孫」	a <u>t</u> pake	アッパケ	「はじめ」

《-ss-と -ts-》

a <u>ss</u> ap	アッサブ	「權」	pe <u>t</u> sa <u>m</u>	ペッサム	「川のそば」
----------------	------	-----	-------------------------	------	--------

☆nの音(=ン)は、p(パ行の音)やm(マ行の音)の前になると、無意識にm(小さい「ム」の音)で発音されます。

(例)アンパ anpa 「～が～を持つ」

実際の発音は ampa となりますが、表記は、 anpa と書きます。

(子音 p、t、k、c、 + 母音 i または u) の後に、(子音 p、t、k、c) で始まる音 + 母音が続くときは、特に母音をはっきり発音するように注意しましょう。

(例) フチ huci 「おばあさん」
チカブ cikap 「鳥」

ある一つの音が、後の特定の音がくると別の音に変化する、ということがあります。

初級編では、次のような例が出てきます。

ク + コロ + トット クコットット
ku= kor tutto ku=kot tutto 「私のおかあさん」

ステップ 23 文のかたち 1 「～が～する」 平叙文

(例文)

- 1 アチャポ アツカシ。
acapo apkas.
おじさんが歩く。

- 2 ウナラペ コツ チセ オツ タ オシピ。
unarpe kor cise or ta osipi.
おばさんが家に帰る。

- 3 アペ ウシ。
ape us.
火が消えた。

- 4 ルアンペ アシワ タン ボン ペツ ポロ。
ruanpe as wa tan pon pet poro.
雨が降って、この小川は増水した。

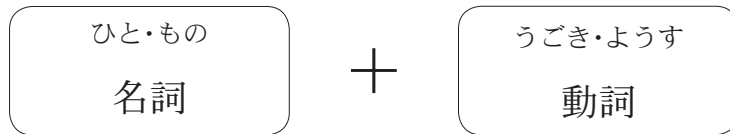
- 5 エカシ コツ トゥキ フレ。
ekasi kor tuki hure.
おじいさんの酒杯は赤い。

- 6 クコン ナラペ (クコロ ウナラペ) オムケカラ。
ku=konnarpe (ku=kor unarpe) omkekar.
私のおばさんは風邪をひいている。

(学習内容とポイント)

「～が～する」もっともシンプルな文のかたち

例文1～4は、2つの言葉が並び「～が～する」という文になっています。前(下線部)にくるのが「～が」に当たる言葉です。これは「おじさん」「おばさん」「火」「雨」など人や物を表す言葉「名詞(めいし)」です。後ろにくるのが「～する」にあたる言葉です。「～が歩く」「～が帰る」「～が消える」「～がふる」のような、動作や様子を表す言葉「動詞」です。



日本語と同じように「アチャポ(おじさん)・「アツカシ(歩く)」と並べるだけで、もっともシンプルな文ができあがります。日本語のような「が」に当たる言葉はいりません。

アイヌ語の動詞は、「すでに起こったこと」「いま起きていること」「これから起こること」を表すことができます。たとえば例文3のウシは「(火)が消えた」という意味にも「消えている」という意味にもなります。

「～する～」

名詞(人・物の言葉)と動詞(動作の言葉)の順序を入れ替えると「～する～」という言葉になります。たとえば「アチャポ アツカシ」の前後を入れ替えると「アツカシ アチャポ(歩くおじさん)」のように、動詞が名詞を説明する働きをします。

例文5と6は、「～が」にあたる部分にたくさんの言葉が並んでいます。これも「トウキ(酒盃)」や「ウナラペ(おばさん)」という名詞を「おじいさんの」や「私の」という説明がついた形で、全体としては名詞と同じ働きをしています。

ステップ 24 文のかたち 2 「～が～しない」 否定文

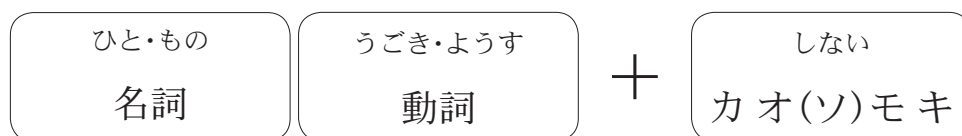
(例文)

- 1 アチャポ トイ カ タ ア ワ アン。 オモ(ソモ) ア プ カ シ。
acapo toy ka ta a wa an. **omo(somo)** apkas.
おじさんは地面に座っています。おじさんは歩きません。
- 2 ヌマン、クコンナラペ (クコロウナラペ) コツチセ オッタ オモ(ソモ) オシピ。
numan, ku=konnarpe(ku=kor unarpe) kor cise or ta **omo(somo)** osipi.
昨日、おばさんは家に帰ってきませんでした。
- 3 アペウシカ オモ(ソモ) キ。
ape us ka **omo(somo)** ki.
火が消えません。
- 4 ルアンペ アシア コロカ(イ) タン ポン ペツ オモ(ソモ) ポロ。
ruanpe as a korka(y) tan pon pet **omo(somo)** poro.
激しい雨が降ったけれど、この川は増水しない。
- 5 エカシ コロ トウキ オモ(ソモ) フレ。
ekasi kor tuki **omo(somo)** hure.
おじいさんの酒杯は赤くない。
- 6 クコンナラペ (クコロウナラペ) オモ(ソモ) オムケカラ。
ku=konnarpe (ku=kor unarpe) **omo(somo)** omkekar.
私のおばさんは風邪をひいていない。

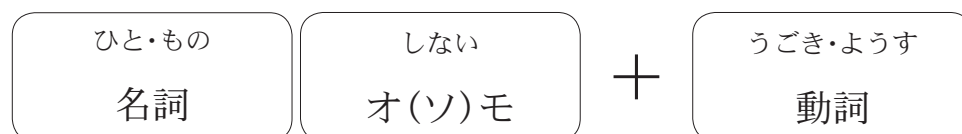
(学習内容とポイント)

「～は～しない」否定の文

前のステップで見たシンプルな文の後ろ(動詞の後ろ)にカ オモ(ソモ)キをつけると「～しない」というを否定をあらわす文になります。



また、例文 5、6 のように、動詞の前にオ(ソ)モをつけることでも否定の文を作る事ができますが、普段の会話では「～カ オ(ソ)モ キ」のタイプの方がよく使われます。



なお、「オモ(ソモ)」は、モの方が高くなるように発音します。～カ オモ(ソモ)キの場合も、モが高くなります。日本語になれた人は自然にオ(ソ)の方を高く発音しがちなので気をつけましょう。

このほか、中級のステップ 11 で扱う否定動詞を使う方法もあります。

ステップ 25 単語を覚えよう 5

- | | | | |
|----|----------|---------------|-----------|
| 1 | コタンコロカムイ | kotankorkamuy | 「シマフクロウ」 |
| 2 | アマメチリ | amamecir | 「スズメ」 |
| 3 | パシクル | paskur | 「カラス」 |
| 4 | パラケウ | parkew | 「カケス」 |
| 5 | チカプコイキプ | cikapkoykip | 「タカ」 |
| 6 | カパッチリ | katatcir | 「ワシ」 |
| 7 | パラケウ | parkew | 「カケス」 |
| 8 | サロルントリ | saroruntori | 「タンチョウヅル」 |
| 9 | エトウピリカ | etupirka | 「エトピリカ」 |
| 10 | トキト | tokito | 「コノハズク」 |

ステップ26 言葉あそびで覚えよう6

沙流地方

◇ハトの聞きなし

クスウェプトイタ	フチ ワッカタ
kusuwep toyta	huci wakkata
ヤマバト畑耕す	婆水を汲む

カッケマツ スケ	ポントノ イペ
katkemat suke	pontono ipe
奥さん料理する	若様 食事する

☆この言葉遊びを収録するにあたり、日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

千歳地方

◇ツツドリの聞きなし

トウトウツ	トウトウツ	シコツペツ	チェブサク
tutut	tutut	sikotpet	cep sak
		千歳川	魚を欠く

トウシペツ	チェブオツ	トウトウツ	トウトウツ
tuspet	cep ot	tutut	tutut
トシベツ川	魚が群れる		

☆ツツドリの鳴き声をよく聞くとこのように鳴いているといえます。その年によって、反対に「シコツペツ チェブオツ (千歳川 魚が群れる) トウシペツ チェブサク (トシベツ川 魚を欠く)」と聞こえるともいい、ツツドリの鳴き声はその年の豊漁を占うものとして注意が向けられました。

ステップ 27 文のかたち 3 「～は～かい？」 疑問文

(例文)

- 1 ナアチャポトイカタアワアン?
na acapo toy ka ta a wa **an**?
おじさんはまだ地面に座っていますか?
- 2 エ、ナアチャポトイカタアワアン。
e, na acapo toy ka ta a wa an.
はい、おじさんはまだ地面に座っています。
- 3 ヌマン、エコンナラペ (エコロウナラペ) コッチセオッタオシピア?
numan, e=konnarpe(e=kor unarpe) kor cise or ta osipi **a**?
昨日、君のおばさんは家に帰ってきましたか?
- 4 エ、クコンナラペ (クコロウナラペ) コッチセオッタオシピルウェネ。
e, ku=konnarpe(ku=kor unarpe) kor cise or ta osipi ruwe ne.
はい、私の叔母さんは家に帰ってきました。
- 5 エカシコッチセオッタトウキアンルウェハ?
ekasi kor cise or ta tuki an ruwe **he**?
おじいさんの家には酒杯がありますか?
- 6 エ、エカシピリカトウキポロンノコロワアン。
e, ekasi pirka tuki poronno kor wa an.
はい、おじいさんは良い酒盃をたくさん持っています。

(学習内容とポイント)

「～は～かい？」 シンプルな問いかけの文

問いかけの文にはいくつかのタイプがあり、簡単な文はごく身近な相手に、すこし複雑な文は改まった問いかけの際につかいます。

いちばん簡単な問いかけは、例文1のように文の終わりを上げるように発音することで表します。

エカシ エク？ ㇿ
じいちゃん 来た？

ルアンペ？ ㇿ
雨？

これだけでも問いかけになりますが、文の終わりに「ア」あるいは「ヘ」をつけると、よりはっきりした問いかけになります。日本語の「～かい？」にあたるような言葉です。

エカシ エクア？ ㇿ
じいちゃん 来たかい？

ルアンペヘ？ ㇿ
雨かい？

応えるときは、Yes なら同じ文で、No のときは否定の文で答えます。

(エカシ) エク。 (エカシ) エクカオモキ。
(じいちゃん) 来た。 (じいちゃん) 来ない。

※エカシは略すこともできます。

少し改まった問いかけ

上でみた簡単な文は、少し丁寧な話し方をしたいときには向きません。より丁寧な問いかけでは、文の最後にルウエをつけます。応えるときも、丁寧な応答にはルウエネを使います。

エカシ エクルウエ？ エクルウエネ。
じいちゃん 来たの？ 来たのです。

エクカオモキルウエネ。
来もしないのです。

ステップ 28 人称について学ぶ 1 「私が、君が～する」 ク・エの使い方

(例文)

- 1 ヌマン ネネ エオマナ ?
numan nene **e=oman** a?
昨日どこに (君は) 行ったの?
- 2 ヌマン チェブ クコイキ クス ペツ オレネ クサン。
numan cep **ku=koyki** kusu pet or ene **ku=san**.
昨日私は魚を釣りに川に (私は) 行った。
- 3 ペツ オッタ チェブ ポロンノ オカイ。
pet or ta cep poronno **okay**.
川に魚がたくさんいた。
- 4 チェブ ポロンノ クコイキ アワ。
cep poronno **ku=koyki** a wa.
魚をたくさん (私は) 捕ったよ。
- 5 札幌 コタン エネ エオマナ ?
札幌 kotan ene **e=oman** a?
札幌に (君は) 行ったの?
- 6 エ、札幌 コタン エネ クオマン。
e, 札幌 kotan ene **ku=oman**.
うん、札幌に (私は) 行った。
- 7 ルアンペ ルイ クス、ポンノ クイシトマ。
ruanpe ruy kusu, ponno **ku=isitoma**.
雨が激しくて、少し (私は) 怖かった。

(学習内容とポイント)

「私が～する」

「私が～する」という文では、動詞の前に「ク」がつけます。クは日本語の「私」とちがいで、動詞の一部です。動詞とクの間には何も入りません。また、文のなかに動詞が2つあれば2つ、3つあれば3つともクをつけた形にし、省略することはできません。

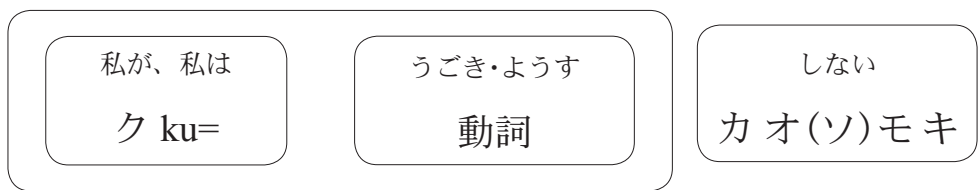


ク + シノッ「～が遊ぶ」 → クシノッ。「私が遊ぶ」
 ku= sinot ku=sinot.

ローマ字では ku= と書いて「=」は読みません。読む時は一息に読み、クの後で区切らないようにします。また、母音アイウエオで始まる動詞とクを組み合わせる場合は、クと母音がひとつながりになってカキクケコに変化します。

ク + オマン「～が出かける」→ クオマン。「私が出かける」
 ku= oman ku=oman.

否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カ オモ(ソモ)キ」をつけます。クの前に「オモ(ソモ)」をつける方法もあります。



クシノッ カ オモ(ソモ)キ。 「私は遊ばない」
 ku=sinot ka omo(somo) ki.

「君は～する」「彼は～する」

「君」が主語になる場合は、動詞の前に「エ e=」をつけます。否定の作り方などのルールは「私」の場合と同じです。例文3のように「私」でも「君」でもない第3者が主語になる場合は、動詞には何もつけません。

エ オユプ。「君は走る」 オユプ。「彼は走る」
 e=oyupu. oyupu.

ステップ 29 単語を覚えよう 6

- | | | | |
|----|-------|----------|----------|
| 1 | チマチェプ | cimacep | 「焼き魚」 |
| 2 | オワウ | owaw | 「具のある汁」 |
| 3 | カイコ | kayko | 「かゆ」 |
| 4 | レタシケプ | retaskep | 「和え物料理」 |
| 5 | シト | sito | 「団子」 |
| 6 | カム | kam | 「肉」 |
| 7 | チェプ | cep | 「魚」 |
| 8 | シアمام | siamam | 「米」 |
| 9 | スケ | suke | 「～が料理する」 |
| 10 | ケラアン | keraan | 「おいしい」 |

ステップ 30 言葉あそびで覚えよう 6

美幌地方

◇サマイクルがオオカミ神を呼ぶときの歌

ケロケロ	ケロラリ
ケロポロ	ウサキナ
アマキナ	イヤママ
カラカニ	ヒルトンパ
ヒンナケロ	ヒンナチョチョ

kerokero	kerorari
keroporo	usakina
amakina	iyamama
karakani	hirutompa
hinnakero	hinnacoco

☆ サマイクルという世界をつくったえらい神様がオロケウトノ（オオカミ神）を呼ぶときの歌と言われるものです。ステップ 35 で紹介している旭川の歌と同じ類のものでしょう。いちばん最後のチョチョは、イヌを呼ぶときに出す音です。

注：この歌の収録にあたって、日本放送協会放送文化研究所・日本コロムビア（1949）『アイヌ歌謡集 第2集』を参照しました。

ステップ 31 文のかたち 4 「AはBだ」 ネの使い方

(例文)

- 1 クアニ キヤンネポ クネ。
kuani kiyannepo ku=ne.
私は長男 (私は)である。
- 2 ペトッタ ワッカ タ メノコ クコンナラペ (クコロ ウナラペ) ネ。
pet or ta wakka ta menoko ku=konnarpe(ku=kor unarpe)ne.
川で水汲みをしているのは、私のおばさんです。
- 3 アウ タ アン メノコ ピリカ ケイトウム コロ ペ ネ。
aw ta an menoko pirka keytum kor pe ne.
隣の奥さんは、気立ての良い女性です。
- 4 トウアン チセ エコッチセ ネ ヤ？
tuan cise e=kor cise ne ya?
あの家は君の家ですか？
- 5 タン キナ エカラ ペ ネ ルウエ ヘ？
tan kina e=kar pe ne ruwe he?
このござはあなたが編んだものですか？
- 6 タン キナ クトウレシ カラ ペ ネ ルウエ ネ。
tan kina ku=turesi kar pe ne ruwe ne.
これは私の妹が編んだござです。
- 7 ニテク カ タ レウ ワ アン ペ アナクネ、シサム イタク アニ「カラス」アニ
アイイエ チカフ ネ。
nitek ka ta rew wa an pe anakne, sisamitak ani “カラス” ani an=ye cikap ne.
木の枝に止まっているのは、日本語でカラスという鳥です。

(学習内容とポイント)

「AはBだ」という文

「一郎は長男だ」のような文を作る時は、「一郎・長男」の順に言葉を並べ、最後にネをつけます。ネは日本語の「～だ、である、です」に当たる言葉です。

ひと・もの 名詞	ひと・もの 名詞	+	だ、です ネ
一郎 一郎 一郎は	キヤンネポ kiyannepo 年長の子		ネ ne だ

ネは動詞の一種です。ですから、「私は～だ」というときは、ネの前にクをつけた形にします。

ひと・もの 名詞	ク	だ、です ネ
キヤンネポ kiyannepo		クネ ku=ne

この文を否定の文にするためにはやはりオモ(ソモ)を使いますが、カ オモ(ソモ)キの代わりにカ オモ(ソモ)ネを使います。

一郎 キヤンネポ ネルウエ ヘ? キヤンネポ カ オモ(ソモ) モ ネ。

一郎 kiyannepo ne ruwe he? kiyannepo ka somo ne.

一郎は年長の子なの? 年長の子ではない。

キヤンネポ エ ネ ルウエ? キヤンネポ ク ネ ルウエ カ オモ(ソモ) ネ。

kiyannepo e=ne ruwe? kiyannepo ku=ne ruwe ka somo ne.

年長の子君なの? 年長の子私であるのではない。

ステップ 32 文のかたち 5 「～しなさい」 命令文

(例文)

- 1 エタク オプニワ アブカシ。
etak **opuni** wa **apkas**.
すぐに立ちあがって歩きなさい。
- 2 トウナシノ アブカシアン。
tunasno **apkas an**.
速く走りなさい。
- 3 エカシ コットウキ エシタナン。
ekasi kor tuki **estan an**.
おじいさんの酒杯を探しなさい。
- 4 アペ ウシカアン。
ape **uska an**.
火を消しなさい。
- 5 ネブネアッカ(イ) エワ エンコタ ポロ。
nep ne akka(akkay) e wa enkota **poro**.
なんでも食べてはやく大きくなりなさい。
- 6 エンコタ トウマシヌアン。
enkota **tumasnu an**.
早く元気になりなさい。

(学習内容とポイント)

「～しなさい」

相手に何かを求める文を命令文と言います。いちばん簡単には動詞をそのまま投げかけることで命令文を作ることができます。

例文1は「立ち上がりなさい」と「歩きなさい」という2つの文をつないでできています。

オプニ	(ワ)	アツカシ
opuni	(wa)	apkas
立ち上がれ	(～して)	歩け

ふつう、命令とは相手に向かって伝えるものです。ですから「エ e=」を使って「君は～する」という文にしたいくなります。ところが、命令の文には「エ」や「ク」をつけず、動詞をそのまま言うだけでよいのです。

ただ、このままの文では、いささかぞんざいな口調になります。そこで文の終わりに色々な言葉を添えることで、こまかいニュアンスを表現します。「アン」は本来は数人の相手にむかって命令するときに使いますが、1人の相手に向かって使うと丁寧さの表現になります。

スネアレアン。

sune are an.

灯りつけなさい。

ステップ 33 文のかたち 6 「～するな」 禁止命令文

(例文)

1 エテツケ トウイマノ シネンネ アツカシ アン。

etekke tuymano sinenne apkas **an**.

一人で遠くへ行ってはいけないよ。

2 エテツケ ペツ オレネ ヤイコシネカ アン。

etekke pet or ene yaykosineka **an**.

川に向かっておしっこをしてはだめだよ。

3 エテツケ トフセ。

etekke topse.

唾を吐くんでない。

4 エテツケ モコンノピリカノヌ。

etekke mokor no pirkano nu.

寝ないでちゃんと聞け。

5 エテツケ イルシカ アン。

etekke iruska an.

怒らないでください。

6 エ、クエラムアンワ。

e, ku=eramuan wa.

はい、(私は)わかりました。

(学習内容とポイント)

「～するな」禁止の文

例文は、始めにエテッケ (etekke) があることを除けば命令の文とほぼ同じ形をしています。「～するな」という文は「～しろ」とは反対の意味ですが、やはり一種の命令です。

禁止の文は、動詞に何もついていない状態で、文のはじめか動詞の前にエテッケをつけます。エテッケがつくことで、文に「～するな」という意味が加わります。

オマン。	エテッケ オマン。
oman.	etekke oman.
行け。	決して行くな。

文の末尾も命令文と同じです。丁寧に禁止するときにはアンを使います。

エテッケ パイエ アン。
etekke paye an.
決して行ってはいけません。

子守歌に使われる「泣かないで眠りなさい」という文も、エテッケを使います。

エテッケ チシノ モコロ。
etekke cis no mokor.
泣かないで眠りなさい。

ステップ 34 単語を覚えよう 7

1	イミ	imi	「着物」
2	アットウシ	attus	「樹皮製の着物」
3	チカラカラペ	cikarkarpe	「木綿の着物」
4	モウル	mour	「肌着」
5	ケレ	ker	「靴」
6	コンチ	konci	「帽子」
7	ホシ	hos	「脚絆」
8	テクンペ	tekunpe	「手甲」
9	チシポ ²	cispo	「針入れ」
10	ニンカリ	ninkari	「耳飾り」

ステップ 35 言葉あそびで覚えよう 7

旭川地方

◇サマイエクルのイヌの名前

タナタナ クニケ

トキカポ ソカポ

タルケ アサナサナ

ユクトマキウカ アンパトマキウカ

ナフテ ナタランパ

チョチョチョチョ

tanatana kunike

tokikapo sokapo

taruke asanasana

yuktomakiwka anpatomakiwka

nahute nataranpa

cocococo

☆ サマイエクルという世界を作ったえらい神様が飼っていたイヌの名前です。さいごのチョチョチョチョはイヌを呼ぶときに出す音です。

ステップ 36 人称について学ぶ 2 「私たちが～する」 アシの使い方

(例文)

1 クアアカシ。

ku=apkas.

私が歩く。

2 アアカシアシ。

apkas=as.

私たちが歩く。

3 ヌマン クモンライケ ワ ソンノ クシンキ。

numan **ku=monrayke** wa sonno **ku=sinki.**

昨日私は仕事をしてとても (私は) 疲れた。

4 ヌマン モンライケアシ ワ ソンノ シンキアシ。

numan **monrayke=as** wa sonno **sinki=as.**

昨日私たちは仕事をしてとても (私たちは) 疲れた。

5 クチシ カネ クキラ。

ku=cis kane **ku=kira.**

私は泣きながら (私は) 逃げた。

6 チシアシ カネ キラアシ。

cis=as kane **kira=as.**

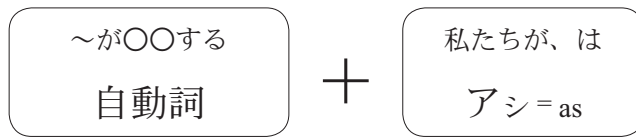
私たちは泣きながら (私たちは) 逃げた。

(学習内容とポイント)

「私たちが～する」

「私たちが～する」という文には、いくつかの形があります。ステップ 36～38 で学びます。

例文にあるアップカシ「～が歩く」やモンライケ「～が仕事をする」、シンキ「～が疲れる」などは自動詞というタイプの言葉です (ステップ 43 で解説します)。これらの動詞の後ろにアシ (=as) をつけると誰かに向かって「私たちが～する」という文になります。

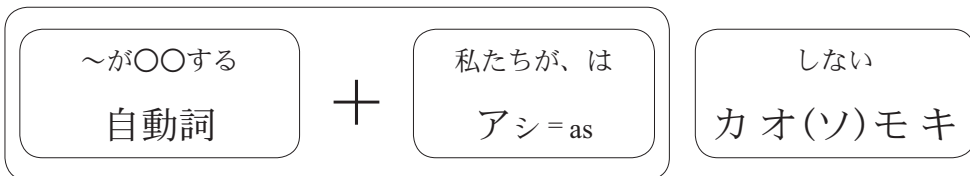


シノッ「～が遊ぶ」+アシ → シノッアシ。「私たちは遊ぶ」
sinot as sinot=as.

ローマ字では =as と書いて「=」は読みません。読む時は、上の例のように区切って言うことも「シノタシ」のようにつなげることもあります。

なお、初めて見る言葉が自動詞かどうかを見分けるのはとても難しいので、アシがついた形で覚えてしまうことをお勧めします。

アシも動詞の一部で、動詞とアシの間には何も入りません。また、クヤエと同じように、文のなかの動詞すべてにつけ、省略することはできません。否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カ オモ(ソモ)キ」をつけます。ステップ 77 に出てくるルスイ「～したい」なども同じです。



シノッアシカ オモ(ソモ)キ。「私たちは遊ばない」
sinot=as ka omo(somo) ki.

ステップ37 人称について学ぶ3「私たちが、君たちが～する」チ・エチの使い方

(例文)

- 1 ヌマン フチ キ トウイタク エチヌ?

numan huci ki tuytak **eci=nu**?

昨日君たちのおばあちゃんの話す昔話を (君たちは) 聞いた?

- 2 オモ(ソモ)。ヌマン エカシ トウラ シノツアシ カネ オカイアシアワ。

omo(somo). numan ekasi tura **sinot=as** kane **okay=as** a wa.

いや。昨日私たちのおじいちゃんと (私たちは) 遊んで (私たちは) いた
んだ。

- 3 タヌ克蘭 フチ トウラノ レタシケツ チエワ オカケタ トウイタク チヌ ナ
ンコロ。

tanukuran huci turano retaskep **ci=e** wa okake ta tuytak **ci=nu** nankor.

今日の夜私たちのおばあちゃんと一緒に和え物料理を (私たちは) 食べて
その後で昔話を (私たちは) 聞くんだ。

- 4 チオカイ ウサナ アッスイ チヌ ルス(イ)。

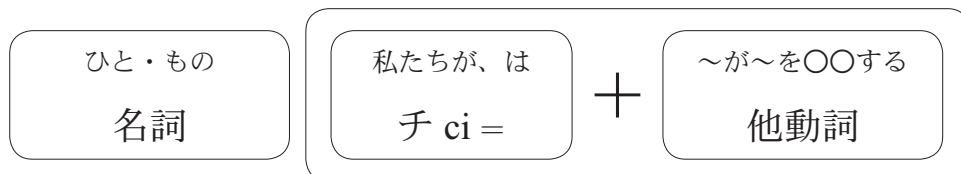
ciokay usa na ar suy **ci=nu** rusu(y).

私たちももう一度 (私たちが) 聞きたいなあ。

(学習内容とポイント)

「私たちが～する」2

例文にある又「～が～を聞く」やエ「～が～を食べる」などは他動詞というタイプの言葉です。これらの動詞の前にチ (ci =) をつけると誰かに向かって「私たちが～を〇〇する」という文になります。「～を」に当たる言葉は前に持ってきます。チと動詞の間には入りません。



ウポポ upopo 「歌」 チ ci= +ヌ nu 「～を聞く」

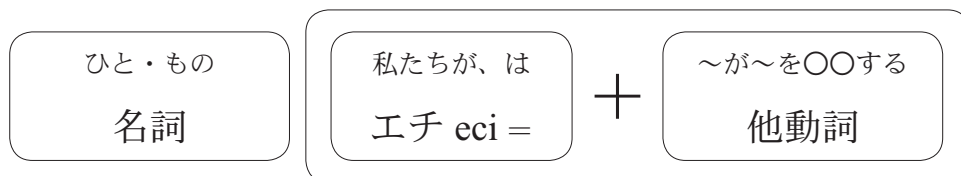
→ ウポポ チヌ。 upopo ci=nu 「私たちは歌を聞く」

自動詞と他動詞の区別はとても難しいので、他動詞はチがついた形で覚えてしまうことをお勧めします。

クやエと同じように、文のなかの動詞すべてにつけ、省略することはできません。

「君たちが～する」

「君たちが～する」という文では、動詞の前に「エチ eci=」をつけます。否定の作り方などのルールは他の場合と同じです。



パシクル paskur エチ eci= +エラマス eramasu 「～が～を好む」

→ パシクル エチ エラマス。「君たちはカラスが好きだ」
paskur eci=eramas.

ステップ 38 人称について学ぶ 4 「私たちが～する」 ア・アンの使い方

(例文)

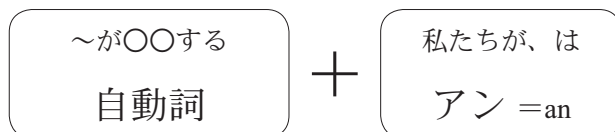
- 1 タント アリキキノ モンライケアン。
tanto arikikino **monrayke=an**.
今日はよく (私たちは) 働いたね。
- 2 トウン アンネワ モンライケアンマ、ソンの シンキアン。
tun **an=ne** wa **monrayke=an** wa, sonno **sinki=an**.
(私たちは) 二人で (私たちは) 仕事をして、本当に (私たちは) ぐたび
れたよ。
- 3 チアアノワソンの ピリカ。
cip **an=o** wa sonno pirka.
舟に (私たちは) 乗ってとても面白かった。
- 4 トノシキタシアマムタク アネワケラアン。
tonoski ta siamam tak **an=e** wa keraan.
お昼におにぎりを (私たちは) 食べておいしかったよ。
- 5 オヤパアンチキ、アチャポコロイタオマチアノ ルスイ。
oyapa an ciki, acapo kor itaomacip **an=o** rusuy.
来年になったら、おじさんのイタオマチアに (私たちは) 乗りたいね。
- 6 ニサッタチマチェポロンノ アンカラクス ヤイモナサバカアン ナンコロ。
nisatta cimacep poronno **an=kar** kusu **yaymonasapka=an** nankor.
明日はたくさん焼き魚を (私たちは) 作るから (私たちは) 忙しいだろう
なあ。

(学習内容とポイント)

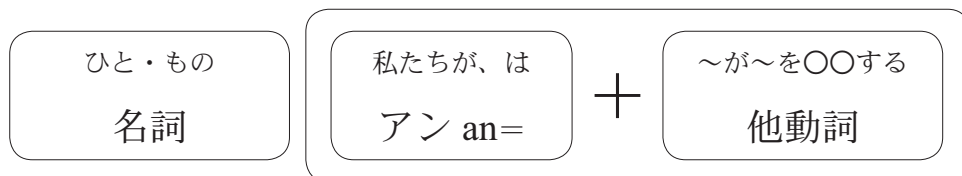
「私たちが～する」3

ステップ 36、37 で学んだ「私たち」を使った表現は、自分たちのことを誰かに話す、つまり話し手と別に聞き手がいる形の文でした。たとえば、砂場で遊んでいる子供のグループに、別のグループが「私たちはすべり台で遊ぶよ」と言うとき、この「私たち」には砂場で遊んでいる子どもたちは入っていません。

これに対し、「私たちみんなでなわとびをしないか」と言った場合には、「私たち」の中に、話し手も聞き手もすべて含まれることとなります。日本語ではどちらも「私たち」ですが、アイヌ語では言葉の形が変わります。自動詞の場合は後ろにアン (=an) を、他動詞の場合は前にアン (an=) をつけます。



シノツ 「～が遊ぶ」 + アン → シノツアン。「私たちは遊ぶ」
sinot an sinot=an.



ウポポ 「歌」 アン+ヌ 「～を聞く」
upopo an nu

→ ウポポ アンヌ。「私たちは歌を聞く」
upopo an=nu.

アンを読む時は、上の例のように区切って言うことも「シノタン」のようにつなげることもあります。

ステップ 39 単語を覚えよう 8

1	チセ	cise	「家」
2	プ	pu	「倉」
3	セツ	set	「子グマの檻」
4	アパ	apa	「戸」
5	プワラ	puwar	「窓」
6	ロルンプワラ	rorunpuwar	「上座の窓（神々が出入りするという窓）」
7	アペソ	apeso	「いろり」
8	イクシペ	ikuspe	「柱」
9	スワツ	suwat	「ろかぎ」
10	アシンル	asinru	「便所」

ステップ40 言葉あそびで覚えよう8

◇ アイヌ語かぞえ歌

シネトゥレプ	トゥレクトウンペ	レイナウル
sine turep	tu rekutunpe	re inawru
1つのウバユリ	2つの首飾り	3つの削りかけ

イネアッケテク	アシクネ イワニ	アイヌイタカニ
ine akketek	asikne iwani	aynuitak ani
4つのほたて	5つのアオダモ	アイヌ語で

イピシキ キヤナニ
ipiski ki yan ani
かずをかぞえてね

イワンアラカシ	アラワントウペプ	トゥペサンスネ
iwan arkas	arwan tupep	tupesan sune
6つの片小屋	7つの結び目	8つのたいまつ

シネペサンワンパハカ	ワンシネウエクル	アイヌイタカニ
sinepesan wanpahka	wan sinewekur	aynuitak ani
9つのでぶくろ	10人のおきゃくさん	アイヌ語で

シノッチャキアン ロク
sinotcaki=an rok
みんなでうたってみよう

☆「ひ～とり、ふ～たり、さんにん いるよ♪」で知られている
「10人のインディアン」の節で、アイヌ語数え歌を歌いましょう。
☆歌詞に使ったアイヌ語は、美幌方言が中心となっています。

ステップ 41 数に関する表現 1

1～20までの数え方を紹介します。音声を聞きながら練習してみてください。

	個数
シネ (sine)	シネフ (sinep)
トゥ (tu)	トゥフ (tup)
レ (re)	レフ (rep)
イネ (ine)	イネフ (inep)
アシクネ (asikne)	アシクネフ (asiknep)
イワン (iwan)	イワンペ (iwanpe)
アヲワン (arwan)	アヲワンペ (arwanpe)
トゥペサン (tupesan)	トゥペサンペ (tupesanpe)
シネペサン (sinepesan)	シネペサンペ (sinepesanpe)
ワン (wan)	ワンペ (wanpe)
シネ イカシマ ワン (sine ikasma wan)	シネフ イカシマ ワンペ (sinep ikasma wanpe)
トゥ イカシマ ワン (tu ikasma wan)	トゥフ イカシマ ワンペ (tup ikasma wanpe)
レ イカシマ ワン (re ikasma wan)	レフ イカシマ ワンペ (rep ikasma wanpe)
イネ イカシマ ワン (ine ikasma wan)	イネフ イカシマ ワンペ (inep ikasma wanpe)
アシクネ イカシマ ワン (asikne ikasma wan)	アシクネフ イカシマ ワンペ (asiknep ikasma wanpe)
イワン イカシマ ワン (iwan ikasma wan)	イワンペ イカシマ ワンペ (iwanpe ikasma wanpe)
アヲワン イカシマ ワン (arwan ikasma wan)	アヲワンペ イカシマ ワンペ (arwanpe ikasma wanpe)
トゥペサン イカシマ ワン (tupesan ikasma wan)	トゥペサンペ イカシマ ワンペ (tupesanpe ikasma wanpe)
シネペサン イカシマ ワン (sinepesan ikasma wan)	シネペサンペ イカシマ ワンペ (sinepesanpe ikasma wanpe)
ホツ (hot)	ホツネフ (hotnep)

(学習内容とポイント)

数を表す言葉

アイヌ語の数を言葉はシネ オッチケ「1つの御膳」、シネ エカシ「1人のお爺さん」のように、ものや人を表す名詞と結びつきます。

「もの」を表す「ㇰ」や「ㇱ」をつけると「1つ」「ふたつ」という意味になり、オッチケ シネ ㇰ「御膳ひとつ」といった言い方もできます。「ㇰ」も「ㇱ」も意味は同じです。母音の後には「ㇰ」がつき、子音の後には「ㇱ」がつきます。20を表す「ホツ」だけは、後ろにネを補ってホツネ イタンキ「20個の御椀」や、ホツネㇰ「20個」とします。

10から上の数え方

1から10までは日本語と同じ感覚で使えますが、11以上になるとシネ イカシマワン「1あまる10」、トゥ イカシマワン「2あまる10」のような数え方になります。また「11個」や「12匹のイヌ」などはシネㇰ イカシマワンペ「1個あまる10個」やトゥ セタ イカシマワンセタ「2匹のイヌあまる10匹のイヌ」のように、1の位と10の位の両方に「個」や「イヌ」を補わなければいけません。

ステップ 42 数に関する表現 2

(例文)

- 1 トゥア^ポクル イワン イルワ^ク ネ クル ネ。
tuan kur **iwān** irwak ne kur ne.
あの人は 6(人) 兄弟だ。

- 2 クユ^ポ イラマンテ クス エキムン オマン マ、トゥツコレレコ オシピ カ
オモ (ソモ) キ。
ku=yupo iramante kusu ekimun oman wa, **tutko rerko** osipi ka omo(somo) ki.
私の兄は山に猟にでかけて、2 日も 3 日も帰って来ない。

- 3 イキア クルクヌカ^ンルスイ クス、トゥ スイ カ レスイ カ チセ オレネ
クオマン。
ikia kur ku=nukar rusuy kusu, **tu suy** ka **re suy** ka cise or ene ku=oman.
私はあの人に会いたくて、2 回も 3 回も家に (私は) 行ったんだ。

- 4 ナ アッスイ イエワ エンコレ。
na **ar suy** ye wa en=kore.
もう一度言ってください。

- 5 イワン コソ^ンテ ミ。
iwān kosonte mi.
6 枚の着物を羽織る。

(学習内容とポイント)

数え方のいろいろ

「日ート」ーシネト「1日」、トゥト「2日」、レト「3日」…

※「2日も3日も」という決まった表現でトゥッコ、レレコも使う

「年ーパ」シネパ「1年」、トゥパ「2年」、レパ「3年」…

「人ーン (母音の後) / イウ (子音の後)」

シネン (1人)、トゥン (2人)、レン (3人) …

イワヌイ (6人)、アラワヌイ (7人)、トゥペサヌイ (8人) …

「回ースイ」アラスイ「1回」、トゥスイ「2回」、レスイ「3回」…

※1回はシネスイといわずアラ「1つの、片方の」を使う。

その他

「シネーとある～」1の他に「とある～」という意味でも使う。

シネトタ、シネアンタ、シネアントタ (とある日に)

シネコタンタ (とある村に)

シネエカシ (とある老人)

「イワンーたくさん」6の他に「多数の～」の例えとしてよく使われる。

サッパイワンパ マタイワンパ (夏の年6年 冬の年6年)

イワナイヌイキリエポソフチ (6つの世代を通じて生きた老婆)

ステップ43 動詞の単数複数1「ひとりで、おおぜいで～する」

(例文)

- 1 ニサッタ サッポロ コタン エネ シネンネ エオマン ルウエ ヘ？
nisatta sapporo kotan ene sinenne **e=oman** ruwe he?
明日一人で札幌に(君は)行くの？
- 2 オモ(ソモ)。クユポ ネワ クサポ トウラノ パイェアシ。
omo(somo). ku=yupo newa ku=sapo turano **paye=as**.
いや。私の兄さんや私の姉さんと一緒に(私たちは)行くんだ。
- 3 ニサッタ エチオシッパ ルウエ ヘ？
nisatta **eci=osippa** ruwe he ?
明日あなたたちは帰るの？
- 4 クアニ ニサッタ クオシピ。
kuani nisatta **ku=osipi**.
明日の夜に(私は)帰る。
- 5 クユポ ネワ クサポ トウッコ トウッコ レレコ シラン チキ オシッパ ナン
コロ。
ku=yupo newa ku=sapo tutko tutko rerko siran ciki **osippa** nankor.
私の兄さんと私の姉さんは2～3日したら帰るでしょう。

(学習内容とポイント)

アイヌ語の動詞は、単数と複数の区別をもつものともたないものに分けることができます。以下の例のように、「～が来る」には単数形(エク)と複数形(アラキ)の区別がありますが、アツカシ「～が歩く」には単数形と複数形の区別はありません。

シネ フチ <u>エク</u> 。 sine huci ek .	フチ ウタラ <u>アラキ</u> 。 huci utar arki
一人のおばあさんが <u>来る</u> 。(単数)	おばあさんたちが <u>来る</u> 。(複数)

シネ フチ <u>アツカシ</u> コロ アン。 sine huci apkas kor an.	フチ ウタラ <u>アツカシ</u> コロ オカイ。 huci utar apkas kor okay.
一人のおばあさんが <u>歩</u> いている。	おばあさんたちが <u>歩</u> いている。

自動詞の場合、単数と複数の区別をもつ動詞は、ものの存在(「ある」「いる」など)や移動(「行く」「来る」など)に関わる動詞であるといえます。一方、他動詞の場合は、対象となるものの変化(「切る」「殺す」など)に関わる動詞が多いといえます。

アン(単数) / オカ(イ)(複数)「～がある、いる(自動詞)」
アラパ(単数) / パイエ(複数)「～が行く(自動詞)」
トゥイエ(単数) / トウイパ(複数)「～が～を切る(他動詞)」
レウエ(単数) / レウパ(複数)「～が～を曲げる(他動詞)」

自動詞の場合、単数と複数の使い分けは主語の数によって決まります(エク / アラキ「～が来る」を用いた上記の例文を参照)。一方、「他動詞の場合、単数と複数の使い分けは、原則として目的語の数によって決まります。

ウンマ <u>クレス</u> 。 umma ku=resu.	ウンマ <u>クレシパ</u> 。 umma ku=respa.
馬を私が <u>育て</u> る。(単数)	(何頭かの)馬を私が <u>育て</u> る。(複数)

なお、動詞には、単数形と複数形で形が全く変わるもの(アン / オカ(イ)「～がある、いる」など)と、一部のみが変わるもの(トゥイエ / トウイパ「～が～を切る」など)があります。

ステップ44 動詞の単数複数2「ひとりで、おおぜいで～する」完全に形が変わるタイプ

(例文)

- 1 ヌマン クコロ アチャポ エクルウェ ネ。
numan ku=kor acapo **ek** ruwe ne.
昨日私のおじさんが来たよ。
- 2 エコンナラペ (エコロ ウナラペ) ウタラ アラキ カ オモ (ソモ) キルウェ
へ?
e=konnarpe(e=kor unarpe) utar **arki** ka omo(somo) ki ruwe he?
君のおばさんたちは来なかったの?
- 3 クコンナラペ (クコロ ウナラペ) ウタラ ニサッタ アラキ ハウエ ネ。
ku=konnarpe(ku=kor unarpe) utar nisatta **arki** hawe ne.
私のおばさんたちは明日来るようだよ。
- 4 クコロ アチャポ ウタラ アシリ チセ アシ。
ku=kor acapo utar asir cise **asi**.
私の伯父さんたちは新しい家を建てた。
- 5 クコロ アチャポ ウタラ ポロンノ チセ ロシキ。
ku=kor acapo utar poronno cise **roski**.
私の伯父さんたちはたくさん家を建てた。

(学習内容とポイント)

単数と複数で形が異なる動詞

動詞のなかには、単数形と複数形で全く形の異なるものがあります。このようなタイプの動詞は、数は少ないのですが基本的な動詞が多く、個々に記憶する必要があります。

以下に自動詞の例をあげます。

ア a (単数) / ロク rok (複数) 「～が座る」

アン an (単数) / オカイ okay (複数) 「～がある、いる」

アシ as (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が立つ」

オマン oman (単数) / パイエ paye (複数) 「～が行く」

エク ek (単数) / アラキ arki (複数) 「～が来る」

オマナン omanan (単数) / パイエカイ payekay (複数) 「～が歩き回る」

以下に他動詞の例をあげます。なお、他動詞の複数形は目的語の複数を表すのが一般的です。

アシ asi (単数) / ロシキ roski (複数) 「～が～を立てる」

ウク uk (単数) / ウイナ uyna (複数) 「～が～を取る」

ステップ 45 単語を覚えよう 9

- | | | | |
|----|------|--------|--------|
| 1 | ヌプリ | nupuri | 「山」 |
| 2 | ペツ | pet | 「川」 |
| 3 | ト | to | 「湖」 |
| 4 | アトウイ | atuy | 「海」 |
| 5 | ニタイ | nitay | 「森」 |
| 6 | ソ | so | 「滝」 |
| 7 | シララ | sirar | 「岩」 |
| 8 | オタ | ota | 「砂浜」 |
| 9 | ヤ | ya | 「おか、陸」 |
| 10 | レブ | rep | 「沖」 |

ステップ 46 言葉あそびで覚えよう 9

美幌地方

◇ポンチカッポ オイナ (小鳥の歌)

ハンチキサニ アマテ
ピーヨ ウェヌトゥワ
ホシ カシ
カンケ イタニニ
カシ オチャ
キクチン カヨカヨ
コキリリッ

hancikisani amate
piyo wenuwa
hosi kasi
kanke itanini
kasi oca
kikucin kayokayo
kokiririt

☆ この歌はポンパケクンネ「ヒガラ」という小鳥のにぎやかなさえずりを表現したものです（「知里真志保ノート（北海道立文学館所蔵）」の記述による）。それぞれの単語の意味ははっきりとしません。

☆ 注：この歌の収録にあたって、「久保寺逸彦録音資料（北海道立図書館所蔵）」を参照しました。

ステップ47 動詞の単数複数3「ひとりで、おおぜいで~する」「ン」から「フ」に変わるタイプ

(例文)

- 1 クユポ ポロ シケ セ ワ チセ オシケ タ アウン。
ku=yupo poro sike se wa cise oske ta **awun**.
私の兄が大きな荷物を持って家の中に入って来た。
- 2 クユピ ネワ クコロ アチャポ ポロ シケ セ ワ チセ オシケ タ アウフ。
ku=yupi newa ku=kor acapo poro sike se wa cise oske ta **awup**.
私の兄と私のおじが大きな荷物を持って家の中に入ってきた。
- 3 シネ チャピ リキン マストーブ コッチャタ アワアン。
sine capi **rikin** wa ストーブ kotca ta **a** wa **an**.
一匹のネコが上がってきてストーブの前に座っている。
- 4 クンネ チャピ レタラチャピ リキフワ ストーブ コッチャタ ロクワオカイ。
kunne capi retar capi **rikip** wa ストーブ kotca ta **rok** wa **okay**.
黒いネコと白いネコが上がってきてストーブの前に座っている。
- 5 イソポ シネ プキム マ サン コロ アン。
isopo sine p kim wa **san** kor **an**.
ウサギが1羽山から下がっている。
- 6 ポン イソポ ポロ イソポ キム マ サフ コロ オカイ。
pon isopo poro isopo kim wa **sap** kor **okay**.
小さなウサギと大きなウサギが山から下りている。

(学習内容とポイント)

ン-nで単数形、プ-pで複数形がつくられる動詞

動詞のなかには動詞の語幹の後ろにン-nを付けて単数形をつくるものがあります。そのような動詞では、語幹の後ろにプ-pを付けて複数形がつくられます。

このようなタイプの動詞は、ほとんどが移動の意味を表わす自動詞に限られています。以下に例をあげます。

アウン awu-**n** (単数) / アウプ awu-**p** (複数) 「入る」

ラン ra-**n** (単数) / ラプ ra-**p** (複数) 「下る」

サン sa-**n** (単数) / サプ sa-**p** (複数) 「(川に沿って) 下る」

リキン riki-**n** (単数) / リキプ riki-**p** (複数) 「上る」

ヤン ya-**n** (単数) / ヤプ ya-**p** (複数) 「上陸する」

ステップ 48 動詞の単数複数 4 「ひとりで、おおぜいで～する」母音がパに変わるタイプ

(例文)

- 1 アチャポ オユブ。
acapo **oyupu**.
おじさんが走る。
- 2 アチャポ カラク トウラノ オユツパ。
acapo karku turano **oyuppa**.
おじさんが甥っ子と一緒に走る。
- 3 マキリ アニ チェフ クトウイエ。
makiri ani cep **ku=tuye**.
小刀で魚を (私は) 切った。
- 4 マキリ アニ チェフ クトウイパ。
makiri ani cep **ku=tuypa**.
小刀で (何度も) 魚を (私は) 切った。

(学習内容とポイント)

母音で単数形、パ -pa で複数形がつくられる動詞

動詞のなかには動詞の語幹の後ろに母音を付けて単数形をつくるものがあります。そのような動詞では、語幹の後ろにパ -pa を付けて複数形がつくられません。

このタイプの動詞は比較的多数みられます。自動詞の例を以下にあげます。

オトウイエ otuy-**e** (単数) / オトウイパ otuy-**pa** (複数) 「～が叫ぶ」

オプニ opun-**i** (単数) / オブンパ opun-**pa** (複数) 「～が起きる」

オシピ osip-**i** (単数) / オシツパ osip-**pa** (複数) 「～が帰る」

オユプ oyup-**u** (単数) / オユツパ oyup-**pa** (複数) 「～が走る」

他動詞の例を以下にあげます。なお、他動詞の複数形は、目的語の数を表わすのが一般的です。

トウイエ tuy-**e** (単数) / トウイパ tuy-**pa** (複数) 「～が～を切る」

メス mes-**u** (単数) / メシパ mes-**pa** (複数) 「～が～を剥ぐ」

アニ an-**i** (単数) / アンパ an-**pa** (複数) 「～が～を持つ」

スイエ suy-**e** (単数) / スイパ suy-**pa** (複数) 「～が～を揺らす」

ステップ 49 単語を覚えよう 10

- | | | | |
|----|--------|----------|---------|
| 1 | トカプチュブ | tokapcup | 「太陽」 |
| 2 | クンネチュブ | kunnecup | 「月」 |
| 3 | ニシ | nis | 「雲」 |
| 4 | ニソロ | nisor | 「空」 |
| 5 | リコプ | rikop | 「星」 |
| 6 | ルアンペ | ruanpe | 「雨」 |
| 7 | レラ | lera | 「風」 |
| 8 | ウパシ | upas | 「雪」 |
| 9 | カムイフム | kamuyhum | 「雷」 |
| 10 | シリピリカ | sirpirka | 「天気が良い」 |

ステップ 50 言葉あそびで覚えよう 10

幌別地方

- ◇目に入ったごみをとるときのとなえごと
- | | |
|----------------|----------------|
| シントコ レンレン | チカッポ レンレン |
| sintoko renren | cikappo renren |
| 行器 沈め沈め | 小鳥 沈め沈め |
-
- | | |
|----------------|----------------|
| シントコ レンレン | チカッポ レンレン |
| sintoko renren | cikappo renren |
| 行器 沈め沈め | 小鳥 沈め沈め |

☆目に入ったごみを行器（ほかい）と小鳥に例えたとなえごとです。

沙流地方

- ◇目に入ったごみをとるときのおまじない
- | | |
|---------------------|--------------------|
| ポンピサック モムモム | ポンオンタロ モムモム |
| pon pisakku mom mom | pon ontaro mom mom |
| 小さな柄杓 流れろ流れろ | 小さな樽 流れろ流れろ |
-
- | |
|---------------------|
| ポンピサック モムモム |
| pon pisakku mom mom |
| 小さな柄杓 流れろ流れろ |

☆目に入ったごみを柄杓と樽に例えたおまじないです。目にごみが入った子供を寝かせて膝枕をし、目元に指で水をつけながら、これをとなえると、やがてごみは流れてしまいます。

☆このステップのとなえごとを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ51 「どうぞ～なさい」丁寧な命令文

(例文)

- 1 エタク オブニ。
etak **opuni**.
早く起きろ。
- 2 エタク オープンパアン。
etak **opunpa an**.
早く起きてください。
- 3 エンコタ オマン。
enkota **oman**.
早く行け。
- 4 ヤイトウパレノ パイエアン。
yaytupareno **paye an**.
気をつけてお行きなさい。
- 5 テイネ エク。
teyne **ek**.
こちらへ来い。
- 6 テイネ アラキヤン。
teyne **arki yan**.
こちらへ来なさい。
- 7 アペサムタ ア。
ape sam ta **a**.
火の側に座れ。
- 8 アペサムタ ロクアン。
ape sam ta **rok an**.
火の側に座りなさい。

(学習内容とポイント)

丁寧な命令の表現

アイヌ語では、動詞をそのまま使って命令の表現をつくることができます。

イペ。 ヌカラ。

ipe. nukar.

食べろ。 見ろ。

ただし、このように動詞をそのまま用いた命令の表現は、「丁寧ではない」という印象を与えることがあります。そこで、文末にアン an という言葉を付けると、丁寧な命令の表現となります。

イペ アン。 ヌカラ アン。

ipe an. nukar an.

食べなさい。 見なさい。

動詞の複数形を用いた丁寧な命令表現

単数と複数の区別のある動詞では、複数の形とアン an を組み合わせることで、丁寧な命令の表現がつけられます。

パイエ アン。 ×オマン アン。

paye an.

行きなさい。 行きなさい。

アラキ アン。 ×エク アン。

arki an.

来なさい。 来なさい。

ステップ 52 人称について学ぶ 5 「私を～」 「私たちを～」 エン・ウンの使い方

(例文)

- 1 ヤム マッカ エンクレ。
yam wakka **en=kure**.
冷たい水を (私に) 飲ませてください。
- 2 クコロ アチャポ ピリカ マキリ トウ ウンコレ。
ku=kor acapo pirka makiri tu p **un=kore**.
私のおじさんが良いマキリを2つ (私たちに) くれた。
- 3 ししまい エクワ エンクパパ。
ししまい ek wa **en=kupapa**.
ししまいがやってきて 私をかじった。
- 4 警察官 ウノトウイパカラ。
警察官 **un=otuypakar**.
警察官が 私たちを呼んだ。
- 5 クユポ エントウラワ オマン。
ku=yupo **en=tura wa oman**.
兄が 私を連れていく。
- 6 アチャポ ウノマフワ ウンレシパ。
acapo un=omap wa un=respa.
おじさんが 私たちをかわいがって (私たちを) 育てた。

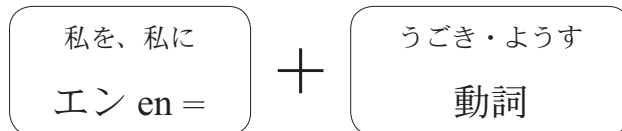
(学習内容とポイント)

目的格の人称接辞

人称接辞には、「私が」、「あなたが」のような表現に使われるもの(主格)の他に、「私を(に)」、「あなたを(に)」という表現に使われるものがあります。このような人称接辞を目的格の人称接辞といいます。

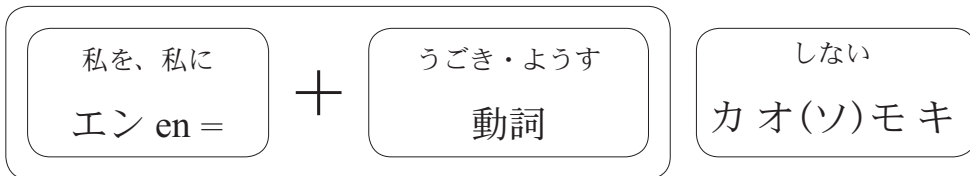
「私を(に)～する」の言い方

「私を(に)～する」と表現する場合には、エン en=「私を(に)」という人称接辞を動詞の前に付けます。主格の人称接辞(ク ku=「私が」)とは形が異なるので注意する必要があります。



エン + ノシパ「～を追う」 → エンノシパ。「私を追う」
en= nospa en=nospa

否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カ オモ(ソモ)キ」をつけます。エンの前に「オモ(ソモ)」をつける方法もあります。



エンノシパカ オモ(ソモ)キ。「私を追わない」
en=nospa ka omo(somo) ki.

「私たちを(に)～する」の言い方

「私たちを(に)～する」と表現する場合には、ウン un=「私たちを(に)」という人称接辞を動詞の前に付けます。主格の人称接辞(チ ci= / アシ=as「あなたたちが」)とは形が異なるので注意する必要があります。否定の作り方などのルールは「私を(に)」の場合と同じです。

ウンヌカラ。「私たちを見る」
un=nukar.

ステップ 53 人称について学ぶ 6 「君を～」 「君たちを～」 エ・エチの使い方

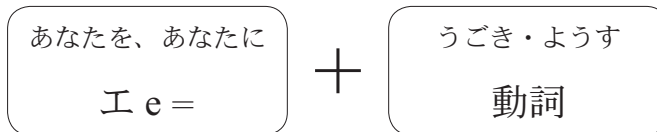
(例文)

- 1 イキア ウナラペ オッタ エオマン チキ、エトウアシカラフ ナンコロ。
ikia unarpe or ta **e=oman** ciki, **e=tuaskarap** nankor.
あのおばさんの所へ (君が) 行ったら、おばさんは君を大事にするだろう。
- 2 イキア ウナラペ オッタ エチパイエ チキ、エチトウアシカラフ ナンコロ。
ikia unarpe or ta **eci=paye** ciki, **eci=tuaskarap** nankor.
あのおばさんの所へ (君たちが) 行ったら、君たちを大事にするだろう。
- 3 ピリカ イミ エミレ ワ ピリカ イペ エエレ ナンコロ。
pirka imi **e=mire** wa pirka ipe **e=ere** nankor.
よい着物を君に着せ、美味しい食物を君に食べさせるだろう。
- 4 ピリカ イミ エチミレ ワ ピリカ イペ エチエレ ナンコロ。
pirka imi **eci=mire** wa pirka ipe **eci=ere** nankor.
よい着物を君たちに着せ、美味しい食物を君たちに食べさせるだろう。

(学習のポイント)

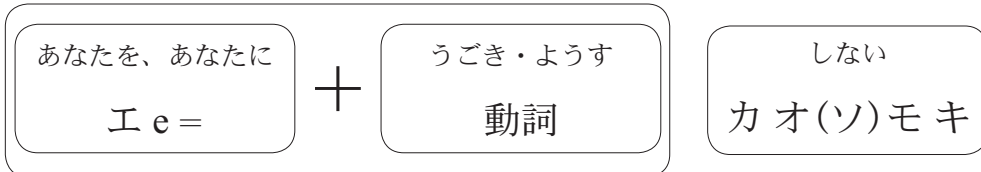
「あなたを (に) ~する」の言い方

「あなたを (に) ~する」と表現する場合には、エ e=「あなたを (に)」という目的格の人称接辞を動詞の前に付けます。目的格の人称接辞エ e=は、主格の人称接辞 (エ e=「あなたが」) と形の上では同じです。



エ + ヌカラ「~を見る」 → エヌカラ。「あなたを見る」
e= nukar e=nukar.

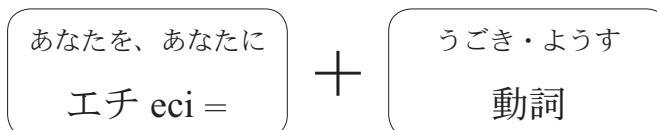
否定の文にしたいときは、動詞の後ろに「カ オモ (ソモ) キ」をつけます。エの前に「オモ (ソモ)」をつける方法もあります。



エヌカラ カ オモ (ソモ) キ。「あなたを見ない」
e=nukar ka omo(somo) ki.

「君たちを (に) ~する」の言い方

「君たちを (に) ~する」と表現する場合には、エチ eci=「あなたたちを (に)」という目的格の人称接辞を動詞の前に付けます。目的格の人称接辞エチ eci=は、主格の人称接辞 (エチ eci=「あなたたちが」) と形の上では同じです。なお、否定の作り方などのルールは「あなたを (に)」の場合と同じです。



エチ + テレ「~を待つ」 → エチテレ。「君たちを待つ」
eci= tere eci=tere.

ステップ 54 「私のところに」「君のそばに」位置名詞と人称

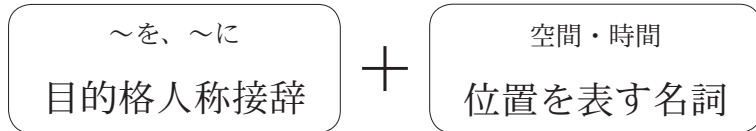
(例文)

- 1 クアムキリ エカチ エンコパク エネ オユプワ エク。
ku=amkir ekaci **en=kopak** ene oyupu wa ek.
私知っている子供が私の方に走ってきた。
- 2 エチオシマケ タ クア アッカ (アッカイ) ピリカ？
eci=osmake ta ku=a akka(akkay) pirka ?
私も君たちの後ろに (私が) 座ってもいいかい？
- 3 シタ エンコツチャケ クシワ オマン。
sita **en=kotcake** kus wa oman.
イヌが私の前を通って行った。
- 4 エンサム タ アラキワ ロク アン。
en=sam ta arki wa rok an.
私の側に来て座りなさい。

(学習のポイント)

目的格人称接辞を用いた位置関係の表現

人称接辞の目的格（「私を」、「君を」など）は、「私の前」、「君の後ろ」などのように、位置関係を示す表現にも使われます。その場合、位置を表す名詞の前に、目的格の人称接辞が付けられます。



エン「私を（に）」＋コッチャケ「前」→エンコッチャケ「私の前」
en= kotcake en=kotcake

以下に例をあげます。

シタ エンコッチャケ タ エク。
sita en=kotcake ta ek.
イヌが私の前に来た。

チャピ エオシマケ タ アン。
capi e=osmake ta an.
ネコが君の後ろにいる。

シタ ウンコッチャケ タ エク。
sita un=kotcake ta ek.
イヌが私たちの前に来た。

チャピ エチオシマケ タ アン。
capi eci=osmake ta an.
ネコが君たちの後ろにいる。

なお、位置関係を示す場合には、以下のように、「私が」、「君が」のような主格の人称接辞を使うことはできませんので注意が必要です。

×シタ クコッチャケ タ エク。
イヌが私の前に来た。

×シタ チコッチャケ タ エク。
イヌが私たちの前に来た。

ステップ 55 単語を覚えよう 11

- 1 カムイノミ kamuynomi 「お祈り」
- 2 シンラッパ sinrappa 「先祖供養」
- 3 ヌサ nusa 「祭壇」
- 4 イクパスイ ikupasuy 「御神酒の箸」
- 5 イナウ inaw 「木幣」
- 6 オンカミ onkami 「拝礼」
- 7 トノト tonoto 「酒」
- 8 トウキ tuki 「杯」
- 9 イオマレ iomare 「お酌」
- 10 アトゥンキナ atunkina 「模様入りのゴザ」

ステップ 56 言葉あそびで覚えよう11

十勝地方

◇数のかけ合いあそび

先手	後手
タンペイエ！	ネツタナ！？
tanpe ye！	nep tan a！？
これを言え！	なんだ！？

ニシポ！	ニシポ！
nispo！	nispo！
ひとつ(？)	ひとつ(？)

トゥッポ！	トゥッポ！
tuppo！	tuppo！
ふたつ！	ふたつ！

レッポ！	レッポ！
reppo！	reppo！
みっつ！	みっつ！

カナクン！	タペスン！
kanakun！	tapesun！
きまってらあ！	そうだろ！

☆十勝地方のいろり端での遊びです。いろりに棒を1本立て、少し離れたところには2本、もう少し離れて3本立てます。2人の子どもがそれを挟むように向きあい、上のかけ合いをします。先手が「タンペイエ！」と言って、後手が「ネツタナ！？」と答えます。すると先手は3か所の棒のどれかを指差しながらその数を言います。後手は同じ数を言わなければいけません。これだけですが以外に難しい遊びです。

いろりが無くとも、言葉のかけあいだけで楽しめます。

☆この遊びを収録するにあたり日本放送協会『アイヌ伝統音楽』を参照しました。

ステップ 57 「いつ？」の聞き方

(例文)

- 1 エチアパッテ クス ネンパラ エチパイエルウェ アン？
eci=apatte kusu **nenpara** eci=paye ruwe an?
君たちはいつ(君たちは)釣りに(君たちは)行ったの？
- 2 ホシキアンヌマン パイエアシルウェ ネ。スミアッチェブ ポロンノ チウク。
hoskiannuman paye=as ruwe ne. *sumiatcep* poronno ci=uk.
一昨日(私たちは)行ったよ。ワカサギをたくさん(私たちは)釣ったよ。
- 3 ネンパラ エオシピ ルウェ アン？
nenpara e=osipi ruwe an?
いつ(君は)帰ったの？
- 4 タント クンネワノ クオシピ。クユポ アナクナ アカン オッタ アン。
tanto kunnewanano ku=osipi. ku=yupo anak na 阿寒 or ta an.
私は今朝帰ってきたよ。兄さんはまだ阿寒にいるよ。
- 5 エユピ ネンパラ オシピ ルウェ アン？
e=yupi **nenpara** osipi ruwe an?
君の兄さんはいつ帰るの？
- 6 ニサッタ オシピ クニ イエ。
nisatta osipi kuni ye.
明日帰るといった。

(学習内容とポイント)

「いつ」

「いつ」ということを聞くときには、ネンパラを使います。ネンパラは動作や様子の変化がいつ起こったのかを聞くもので、文の中では動詞よりも前に置きます。

ネンパラ エエク?

nenpara e=ek?

いつ 君は来た?

「だれ」「いつ」「どこ」「なに」「どのように」などを問う文で、ルウェを使った問いかけをする場合は、後ろにアンをつけます。

ネンパラ エエクルウェ アン?

nenpara e=ek ruwe an?

いつ 君はきたのだ?

「いつか」「いつまで」

おなじ「いつ」に当たる言葉でも「いつか」や「いつまでも」といった場合は、時間的な位置を特定しません、このような不定の意味でいう「いつ」にはネイ ney も使います。後ろにパクやカなどをそえて使います。

ネンパラ カ エエラムアンナンコロ。

nenpara ka e=eramuan nankor.

いつか 君はわかる だろう。

ネイパク エモコロ?

ney pak e=mokor?

いつまで君は寝る?

ステップ 58 「だれが？」の聞き方

(例文)

- 1 タンノカ ネン ヌイエ ヲタ アナ？
tan noka **nen** nuye p ta an a?
この絵は誰が描いたの？
- 2 クサポ ヌイエ ヲネルウエネ。
ku=sapo nuye p ne ruwe ne.
私の姉さんが描いたんだ。
- 3 テマンタ アンヌイエ ワ アン エカチ ネン タ アナ？
temanta an=nuye wa an ekaci **nen** ta an a?
ここに描いてある子供は誰だい？
- 4 クネルウエネ。
ku=ne ruwe ne.
私だよ。
- 5 ソンノ エポニタ ヌイエ ア コトム シラン。
sonno e=pon hi ta nuye a kotom siran.
ずいぶん (君が) 小さい頃に描いたんだね。

(学習内容とポイント)

「誰」

「誰が～した」ということを聞くときには、ネンを使います。普通の文の「～が」にあたる箇所をネンにします。

クサポ ノカ ヌイエ。

ku=sapo noka nuye.

私の姉が 絵を 描いた。

ネン ノカ ヌイエ？

nen noka nuye?

誰が 絵を 描いた？

「～は誰だ」という文は、「ネンタ アナ？」を使います。

トアンクル ネンタ アナ？

toankur nen ta an a?

あの人 誰だ？

アンは普通は「いる・ある」という意味ですが、決まり切った言いまわしの中では少し違った意味で使われることも多いので、そのまま覚えてしましましょう。

「誰か」

「誰か」「誰でも」のような不特定の「誰」には「ネン」を使います。

ネンカ ネンネアッカ(アッカイ)

nen ka nen ne akka(akkay)

誰か 誰でも

ステップ 59 「どこで?」「どこへ?」「どこから?」の聞き方

(例文)

- 1 エコロ アチャポ ネイワ エククルネルウェ アン?
e=kor acapo **ney wa** ek kur ne ruwe an?
君のおじさんはどこから来た人なの?
- 2 クシロ オッタ シクオワ、ナ ポニ タ オビヒロ エネ オマンルウェ ネ。
釧路 or ta sik'o wa, na pon i ta 帯広 ene oman ruwe ne.
釧路で生まれて、小さい時に帯広に行ったんだ。
- 3 エコロ アチャポ ネイタ タフカラ エラムアンルウェ アン?
e=kor acapo **ney ta** tapkar eramuan ruwe an?
おじさんはどこで踊りを覚えたの?
- 4 オビヒロ オッタ キルウェ ネ。 コロカ(イ)タネ ネ アチャポ イサム。
帯広 or ta ki ruwe ne. korka(y) tane ne acapo isam.
帯広で覚えたんだ。でも、もうそのおじさんはいないよ。
- 5 ネネ オマン?
nene oman?
どこへ行ったの。
- 6 ボリビア エネ オマンルウェ ネ。
ボリビア ene oman ruwe ne.
ボリビアに行ったんだ。

(学習内容とポイント)

どこで、どこへ、どこから

「どこで～する」というときの「どこ」は、ネイを使います。これに「タ(～で)」、「ワ(～から)」をつけて「どこで」「どこから」を表します。「どこで」の表現には、ネネが使われます。

ボンチャピ ネイ タ アン?

pon capi ney ta an?

ちびネコ どこにいる?

ボンチャピ ネネ オマン?

pon capi nene oman?

ちびネコ どこへ行った?

ボンチャピ ネイ ワ エク?

pon capi ney wa ek?

ちびネコ どこから来た?

「どこかへ」「どこかで」

「どこかへ」、「どこかで」のような不特定の場所を表す場合にも、「ネイ ワ」、「ネイ タ」、「ネネ」などの表現が使われます。

ネイタ ネアッカ(アッカイ)クモコロ エアシカイ。

ney ta ne akka(akkay) ku=mokor easkay.

どこででも私は寝られる。

ネネ エオマン アッカ エテッケ エンオイラ。

nene e=oman akka etekke en=oyra.

どこへ(君が)行っても決して私を忘れるな。

ウナラペ ネイワ エク クル ネ アッカ(アッカイ)イペレ。

unarpa ney wa ek kur ne akka(akkay) ipere.

おばさんはどこから来た人であっても食事を与えた。

ステップ 60 「なに?」「いくつ?」の聞き方

(例文)

1 ネエエルスイ?

nep e=e rusuy?

何が(君は)食べたい?

2 ネネアッカ(アッカイ)ピリカコロカ(コロカイ)、ニカオプクエルス(ルスイ)。

nep ne akka(akkay) pirka korka(korkay), *nikaop* ku=e rusu(rusuy).

何でもいいけど、フルーツが(私は)食べたいな。

3 ミカンネチキアンナ。ネンパクペエエ?

ミカン ne ciki an na. **nenpak** pe e=e?

ミカンならあるよ。いくつ(君は)食べる?

4 ネンパクペアン?

nenpak pe an?

いくつあるの?

5 クミチシネシポナパクノアンペホクワエククス、ポロンノアン。

ku=mici sine sipop pakno an pe hok wa ek kusu, poronno an.

私の父さんが一箱買ってきたから、たくさんあるよ。

6 ハウエネチキ、レプエネレ。

hawe ne ciki, re p en=ere.

じゃあ、3つ(私に)ちょうだい。

7 ケ。

ke.

はい。どうぞ。

(学習内容とポイント)

「何が」と「何でも」

「何がほしい？」などと聞く場面では「ネフ」を使います。

ネフ エコルスイ？

nep e=kor rusuy?

何(君は)欲しい？

カンピク コルスイ。

kampi ku=kor rusuy.

紙(私は)欲しい。

「何でもいい」「何もない」のような不定の「何」は「ネフ」を使います。

ネフネ アッカ(アッカイ)ピリカ。

nep ne akka(akkay) pirka.

何でもいい。

ネフカ イサム。

nep ka isam.

何もない。

「いくつの」

「何個」、「何日」、「何人」などは、「いくつの」を意味する「ネンパク」と、その物を表す言葉の組み合わせで表現します。

ネンパク ペ ネンパクト ネンパクスイ

nenpak pe nenpak to nenpak suy

いくつのもの いくつの日 いく度

ステップ 61 単語を覚えよう 12

1	アツ	at	「オヒョウの繊維」
2	クペレケブ	kuperkep	「シナの繊維」
3	シキナ	sikina	「ガマ」
4	カ	ka	「糸」
5	カタク	katak	「糸玉」
6	カニツ	kanit	「糸より台」
7	イテセニ	iteseni	「ゴザ編み台」
8	ピツ	pit	「ゴザ編みの石」
9	ケム	kem	「針」
10	カオルンベ	kaorunpe	「機織り機」

ステップ 62 言葉あそびで覚えよう 12

◇アイヌ語版「うさぎとかめ」美幌方言

エヌエヌ エチンケエチンケさん モシッソ カシケタ エアッカリ
 e=nu e=nu ecinke ecinke さん mosir so kaske ta e=akkari
 「もしもし かめよ かめさんよ せかいのうちに おまえほど

アツカシ モイレッオアラリサム ネクス パクノ エモイレ カ?
 apkas moyre p oararisam nekusu pakno e=moyre ka?
 あゆみの のろい ものはない どうして そんなに のろいのか」

ネコンエイエハウエ イソポさん ハウエネ チキ ウトゥラノ ウトゥシマカン
 nekon e=ye hawe isopo さん hawe ne ciki uturano utusmak=an
 「なんと おっしゃる うさぎさん そんなら おまえと かけくらべ

トゥアンヌプリ チンケウポク パクノ インキアングル ホシキノ コシレパカ
 tu' an nupuri cinkew pok pakno inkian kur hoskino kosirepa ka
 むこうの 小山の ふもとまで どちらが さきに かけつくか」

エチンケ ヤイキマテッカ ヤッカ シリクンネ パクノ キナンコロ
 ecinke yaykimatekka yakka sirkunne pakno ki nankor
 「どんなに かめが いそいでも どうせ ばんまで かかるだろう

テオッタ ポンノ クモコッソ
 te or ta ponno ku=mokor so
 ここらで ちょっと ひとねむり」
 ぐーぐーぐーぐー ぐーぐーぐー
 ぐーぐーぐーぐー ぐーぐーぐー

クモコロ カス アッチャカチャー ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン
 ku=mokor kasu atcakaca ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン
 「これは ねすぎた しくじった」 ピョンピョンピョンピョンピョンピョンピョン

エイコシテッコ エモイレ ナ ヤヨモンヌレ エキ コロカイ
 eykostekko e=moyre na yayomonnure e=ki korkay
 「あんまり おそい うさぎさん さっきの じまんは どうしたの」

(アイヌ語訳：平成 21～23 年度アイヌ文化担い手育成事業 講師・受講者)

ステップ 63 「なぜ?」「どのように?」の聞き方

(例文)

- 1 ネクス イペルスイアン ペ アン?
nekusu iperusuy=an pe an?
どうしておなかがへるのかな?
- 2 イペルスイカムイ アニ アイイエ カムイ アン アカイエ。
iperusuykamuy ani an=ye kamuy an ak an=ye.
イペルスイカムイっていうカムイがいるんだって。
- 3 ネクス エネ アンカムイ アンハウエ アン?
ne kusu ene an kamuy an hawe an?
どうしてそんなカムイがいるの?
- 4 クエラムシカレ。テエタ ワノ アンナンコロ。
ku=eramuskare. teeta wano an nankor.
知らない。ずっと昔からいるんでしょ。
- 5 ネコン クイキチクイペルスイ オモ(ソモ)キナンコラ。
nekon ku=iki ciki ku=iperusuy omo(somo) ki nankor a.
どう(私が)したらおなかがへらないようになるだろうか。

(学習内容とポイント)

「なぜ」

「なぜ」の表現には、ネクスという言葉が使われます。他の地域ではヘマンタクスやネックスという形も使われます。樺太の言葉ではヘマンタクスとなります。

ネクス イナウ アカン ルウェアン？

nekusu inaw a=kar ruwe an?

なぜ 木幣を (人が) つくるの？

「どのように」

「どのように」を問うには「ネコン」を使います。下の文は「何してる？」と聞くときに使える文です。

ネコン エイキ ルウェアン？

nokon e=iki ruwe an?

どのように (君が) しているのだ？

ネコンは不定の意味の「どのように」という表現に使われます。

ネコンクイエ アッカ (アッカイ) エミナ カ オモ (ソモ) キ。

nekon ku=ye akka(akkay) e=mina ka omo(somo) ki.

どのように (私が) 言っても 君は笑わない。

ステップ 64 「すごいなあ！」の言い方 感嘆文

(例文)

- 1 タンチャピソンノポロルウェアン！
tan capi sonno poro **ruwe an!**
このネコ大きくなったねえ！
- 2 ピリカチェパテックスイエワクエレルウェネ。
pirka cep patek ku=suye wa ku=ere ruwe ne.
良い魚ばかり(私は)煮て(私は)食べさせてるんだ。
- 3 ポンノクサマケナ。イラムイラムイラム！ケラアンフミアン！
ponno ku=*sapke* na. iram iram iram! keraan **humi an!**
ちょっと(私が)味見してみよう。すごい！おいしいねえ！
- 4 チャピアッカリイベシリウエンペエネルウェネ！
capi akkari ipe siri wen pe e=ne **ruwe ne !**
ネコより行儀が悪い人だね！
- 5 ネンシノッチャキハウエネア。ハウエピリカハウエアン！
nen sinotcaki hawe ne a. hawe pirka **hawe an!**
誰が歌ってるんだろう。いやあ、いい声だなあ。
- 6 ソンノハウエピリカ。アウタアンエカシコロオウムシノッチャキハウエネ。
sonno hawe pirka. aw ta an ekasi kor オウム sinotcaki hawe ne.
ほんといい声だ。隣のおじいさんのオウムが歌ってるんだよ。
- 7 クエラムトウイ、オウムシノッチャキハウエヘ？
ku=eramutuy, オウム sinotcaki hawe he?
おどろいた、オウムが歌っているの？

(学習内容とポイント)

「～だなあ！」

問いかけの文などで、文の終わりに使う「ルウエ」、「ハウエ」、「シリ」、「フミ」などは、驚きの感情を表す時にも使われます。文の終わりにこれらをつけることで、日本語にすると「なんとまあ～だこと」という文になります。

簡単にいうと次のような使い分けがあります。

ハウエ：話に出たこと事に対して

ピリカ オルシペ ネ ハウエ アン！

pirka oruspe ne hawe an!

「すてきな話だこと！」

シリ：目の前で起こっている事に対して

ピリカノ アンヌイエ シリアン！

pirkano an=nuye siri an!

「見事に彫刻されてること！」

フミ：人の声以外の音や感覚に対して

タンサランベソンノ リテンフミアン！

tan sarampe sonno riten humi an!

「この布本当に柔らかいこと！」

ルウエ：上の3つをふくめ、話し手が事実だと考えていることに対して

トゥアンエカチ ミチネッコノ アンルウエ アン！

tuan ekaci mici nekkono an ruwe an!

「あの子父親にそっくりであること！」

ステップ65 人稱について学ぶ7 「～なさる」「～していらっしゃる」 人稱による敬称表現

(例文)

- 1 フチ、イワンケアン マ オカイアナ ルウェヘ?

huci, **iwanke=an** wa **okay=an** a ruwe he?

おばあさん、お元気でいらっしゃいましたか。

アンレス オウム クヌカンルスイナ。クアウンアッカ(イ)ピリカ?

an=resu オウム ku=nukar rusuy na. ku=awun akka(y) pirka?

あなたの育てていらっしゃるオウムを見たいんです。入ってもいいですか?

- 2 ピリカワ。エタクアウンマヌカラン。

pirka wa. etak awun wa nukar an.

いいですよ。さあ、入ってごらん。

- 3 ポロ オウム ネルウェアン。 ペウレアニ ワノ アンレス ルウェヘ?

poro オウム ne ruwe an. **pewre=an** hi wano **an=resu** ruwe he?

大きいオウムだなあ！お若いころから飼っていらっしゃるんですか？

- 4 クペウレヒワノクレスカネクアンルウェネ。

ku=pewre hi wano ku=resu kane ku=an ruwe ne.

若いころから育ててるんですよ。

(学習内容とポイント)

敬称表現

アイヌ語にも敬語の表現があります。動詞や名詞に、エ e= でなくア a= またはアン =an をつけることで「貴方は、貴方が、貴方の」という意味になります。また、このとき単数と複数で動詞の形の違いがあれば、複数形にします。

エアン。

e=an.

君がいる。

オカイアン。

okay=an.

貴方がいらっしゃる。

ソ エヌカラ。

so e=nukar.

滝を君が見る。

ソ アンヌカラ。

so an=nukar.

滝を貴方がごらんになる。

「エ～(君が～した)」という文章は、その動作をしたのが「君」であるということをはっきりと表示しています。日本語でも「君見た？」という言い方は、さしせまったぶしつけな印象を与えます。「君」をはぶいて「見た？」というだけでかなり柔らかい表現になります。さらに動詞の方を「ごらんになった」という形にすると、より丁寧になりますが、これは「誰の行為なのか」がよりあいまいになったということでもあります。

アイヌ語の敬語も、行為の主体をぼかすことによって敬意を表す方法で作られています。ただし、主体をぼかすために何もつけないと3人称になってしまいますので、アンを使って、話し手も聞き手も世間一般も含んでいるとも取れるような言い方をします。

ステップ 66 単語を覚えよう 13

- | | | | |
|----|-------|-----------|---------|
| 1 | サコロペ | sakorpe | 「英雄叙事詩」 |
| 2 | レプニ | repni | 「拍子木」 |
| 3 | サコラウ | sakoraw | 「神謡」 |
| 4 | サケヘ | sakehe | 「折節」 |
| 5 | トゥイタク | tuytak | 「散文説話」 |
| 6 | ヤイサマ | yaysama | 「即興歌」 |
| 7 | ユンケ | yunke | 「子守歌」 |
| 8 | ロクウポポ | rok'upopo | 「座り歌」 |
| 9 | リムセ | rimse | 「踊り」 |
| 10 | タップカラ | tapkar | 「男性の踏舞」 |

ステップ 67 言葉あそびで覚えよう 13

◇人称接辞の歌（「ドレミの歌」の節で）

クは私の ku= エはあなたの e= eci=（エチ）あなたたち
 ci=（チ）はてまえども =as（アシ）は自動詞に a=（ア）は一般に
 =an（アン）は敬称も en=（エン）un=（ウン）e=（エ）eci=（エチ）i=（イ）

☆歌って人称接辞の役割を覚えてしまいましょう。（作成：北原次郎太）

ク	ku=	1 人称単数主格	動詞について「私は、私が」 名詞について「私の」
エ	e=	2 人称単数主格	動詞について「君は、君が」 名詞について「君たちの」
エチ	eci=	2 人称複数主格	動詞について「君たちは、君たちが」 名詞について「君たちの」
チ	ci=	除外的1人称 複数主格	他動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」 名詞について「私たちの」
アシ	=as	除外的1人称 複数主格	自動詞について 「(相手を含まない) 私たちは、私たちが」
ア	a=	不定人称主格	不定人称主格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちは、私たちが」 「一般に人は、人が」 「(敬称表現の際に) あなたは、あなたが」 名詞について「(相手を含む) 私たちの」
アン	=an	不定人称主格	自動詞について「(相手を含む) 私たちは、私 たちが」「一般に人は、人が」 「(敬称表現の際に) あなたは、あなたが」
エン	en=	1 人称単数目的格	他動詞について「私に、私を」
ウン	un=	1 人称複数目的格	他動詞について「私たちに、私たちを」
エ	e=	2 人称単数目的格	他動詞について「君に、君を」
エチ	eci=	2 人称複数目的格	他動詞について「君たちに、君たちを」
イ	i=	不定人称目的格	不定人称目的格 他動詞について 「(相手を含む) 私たちに、私たちを」 「人に、人を」「あなたに、あなたを」

ステップ68 「～という」の言い方 アニを使った引用

(例文)

- 1 タン チカプ アナク ヨウム アニ アイイエ チカプ ネ。 オウム ネ クニ クラム カネク アン コロカ (イ)、
tan cikap anak ヨウム **ani an=ye** cikap ne. オウム ne kuni ku=ramu kane ku=an korka(y),
この鳥はヨウムという鳥だよ。オウムだと思ってたけれど、

イサ オツ タ クオマナクス、「タン チカプ ヨウム ネ」アニ イサ ニシパ ハウエアン。
isa or ta ku=oman akusu, “tan cikap ヨウム ne” **ani** isa nispa hawean.
獣医に行ったら「この鳥はヨウムだ」とお医者さんが行ったんだ。
- 2 タネポ クエラムアン。 エシン シノッチャキワ ソンノ ハウエ ピリカ ハウエ ネ。
tanepo ku=eramuan. esin sinotcaki wa sonno hawe pirka hawe ne.
はじめて知りました。さっき歌を歌ってたけど、とてもよい声ですね。
- 3 ナ ポンヒ タ、イタク カ エアイカプ。 ポンノ ポロ コロ、シネ アニ タ “ミチ ミチ” アニ ハウエアシ。
na pon hi ta, itak ka eaykap. ponno poro kor, sine an hi ta “mici mici” ani hawean.
まだ小さい時は言葉も話せなかった。少し大きくなると、ある日「お父さん お父さん」と鳴いたんだ。
- 4 「アイヌ イタク エラムアン チカプ カ アン」アニ クコロ エカシ ハウエアン ペネ コロカ (イ)、ソンノ ネ。
“aynu itak eramuan cikap ka an” **ani** ku=kor ekasi hawean pe ne korka(y), sonno ne.
「人の言葉がわかる鳥もいる」と私のおじいさんが言っていましたが本当ですね。

(学習内容とポイント)

「～という」

「母はハハハと笑った」の「と」のように、誰かの言葉などを引用するときにはアニ ani を使います。

ハハハ アニ クハポ ハウエアン カネ ミナ。

hahaha ani ku=hapo hawean kane mina.

ハハハ と 私の母 言う ながら 笑った。

「京都という町は～」、「携帯電話というものは～」などという時の「～という」にもセコロを使います。覚えてしまうと便利な表現です。

京都 アニ アイイエ コタン

京都 ani an=ye kotan

京都 という 町

携帯電話 アニ アイイエ プ

携帯電話 ani an=ye p

携帯電話 という もの

アニは「私の名前は〇〇といます」という自己紹介にも使えます。直訳すると難しく感じられる文ですが、このままの形で覚えてしまうとよいでしょう。下の「 」の中に自分の名前を入れて、自己紹介のときに使ってみましょう。

「 アニクレヘアン。

ani ku=rehe an.

と私の名ある。

ステップ 69 「～して」「～ので」の言い方 つなぎの言葉

(例文)

- 1 タネ シリクンネ クス、クオシピ ワ オヌマニペ クエ ナンコロ。
tane sirkunne **kusu**, ku=osipi **wa** onumanipe ku=e nankor.
もう暗くなったので、かえって夕飯を食べるよ。
- 2 タヌ克蘭 エイペ ワ オロ ワ ネコン エイキア？
tan ukuran e=ipe **wa** oro **wa** nekon e=iki a?
今晚、食事して、それからどうする？
- 3 タント クシンキ クス、クイペ ワ ナニ クモコン ナンコロ。
tanto ku=sinki **kusu**, ku=ipe **wa** nani ku=mokor nankor.
今日は疲れたので、食事して寝るよ。
- 4 クアニ ウサ クモコンルスイ コロカ(イ)、ビデオ クエトウン マクエク クス、タヌ克蘭 クヌカン ナンコロ。
kuani usa ku=mokor rusuy **korka(y)**, ビデオ ku=etun **wa** ku=ek **kusu**, tan ukuran ku=nukar nankor.
私も眠いけど、ビデオを借りてきたので今晚みよっと。
- 5 トペンペ アン クス エコロ ワ エオマン マ エエ カネ エヌカラ チキ ピリカ。
topenpe an **kusu** e=kor **wa** e=oman **wa** e=e **kane** e=nukar **ciki** pirka.
お菓子があるので持って行って、食べながら見るといいよ。
- 6 ビール クク カネ クヌカン ナンコロ クス、ピリカ。
ビール ku=ku **kane** ku=nukar nankor **kusu**, pirka.
ビールを飲みながら見るつもりなので、いいよ。

(学習内容とポイント)

短い文を作れるようになったら、文と文をつなぎあわせることで、より長い文をつくれるようになります。

例：

クミツクアマ。「私は服を脱ぐ」+ クミツクウライエ。「私は服を洗う」

ku=mi p ku=ama.

ku=mi p ku=uraye.

クミツクアマ ワ クウライエ。「私は服を脱いで洗う」

ku=mi p ku=ama wa ku=uraye.

マキリ シコポプ。「ナイフが錆びた」+ マキリ クルイケ。「私はナイフを研ぐ」

makiri sikopop.

makiri ku=ruyke.

マキリ シコポプ クス クルイケ。「ナイフが錆びたので研ぐ」

makiri sikopop ksu ku=ruyke.

エカシ シノッチャキ。「おじいさんが歌う」+ エカシ アプカシ。「おじいさんが歩く」

ekasi sinotcaki.

ekasi apkas.

エカシ シノッチャキ カネ アプカシ。「おじいさんが歌いながら歩く」

ekasi sinotcaki kane apkas.

☆日本語の「つなぎの言葉」には、同じ音でも意味が違うものがあります。たとえば「服を脱いで」というときの「で」は、「箸で食べる」、「鶴居でくらす」、「飲まないで寝る」というときの「で」とは違う言葉です。

また、マキリ シコポプ クスを「ナイフが錆びたから」と訳しても意味が変わらないように、クスは「～(だ)から」という日本語とも対応しています。このときの「から」は、「食事してから」の「から」とは違う言葉です。

ステップ70 「私の手」「君の手」の言い方 所有表現1

(例文)

- 1 エオトピ ヤカ。
e=otopi yaka.
君の髪を指差して。
- 2 エ。
e.
はい。
- 3 エシキ モイモイエ。
e=siki moymoye.
君の目を動かして。
- 4 エ。
e.
はい。
- 5 エテケ スイエ。
e=teke suye.
君の手を振って。
- 6 エ。
e.
はい。
- 7 クヤカ ウシケ イエ。
ku=yaka uske ye.
私が指差したところを言ってね。
- 8 クチャロ。
ku=caro.
私の口。

例文 1、3、5、8 の単語と下の単語を入れ替えて練習してください。

エレクチ	エホニ	エアミ	エウレペチ	エエトゥブイエ
e=rekuci	e=honi	e=ami	e=urepeci	e=etupuye
君ののど	君の腹	君のつめ	君の足のゆび	君の鼻の穴

エパケ	エナヌ	エイッケウエ	エシットツケウエ	エコッカパケ
e=pake	e=nanu	e=ikkewe	e=sittokkewe	e=kokkapake
君の頭	君の顔	君の腰	君のひじ	君のひざ

エラル	エパルンペ	エタプストゥ	エアシケペチ
e=raru	e=parunpe	e=tapsutu	e=askepeci
君のまゆげ	君の舌	君の肩	君の指

エチキリ	エパケ	エオソロ	エウレ
e=cikiri	e=pake	e=osoro	e=ure
君の足(全体)	君の頭	君の尻	君の足首から先

(学習内容とポイント)

体の部分の呼びかた

クテケ ku=teke 「私の手」 エチキリ e=cikiri 「君の足」 のように、誰かの体の一部をさす言葉は、言葉の終わりがかならずアイウエオのいずれかで終わっています。この後ろにさらにハヒフヘホがつくこともあります。どちらでも意味は同じです。「私」や「君」の意味は、頭についた「ク ku=」や「エ e=」が表します。「私」や「君」以外の誰かの手や足の場合は、シタ パケ sita pake 「犬の頭」 エカシ キサラ ekasi kisara 「おじいさんの耳」 のように「持ち主・体の部分」の順に並べて言います。

☆ 「頭が痛い」「足が痛い」という時には、アラカ arka 「痛い」という言葉をつかってクパケ アラカ. ku=pake arka. 「私の頭が痛い」 クチキリ アラカ. ku=cikiri arka. 「私の足が痛い」 のように言います。クパケ クアラカ. ku=pake ku=arka. とは言いません。

ステップ71 「私の～」「君の～」の言い方 所有表現2

(例文)

- 1 ウパシ ポロルウェ アン。 エソン クオマン マ クコロシタ クトゥラ ワク シノツルス(イ)。
upas poro ruwe an. eson ku=oman wa **ku=kor sita** ku=tura wa ku=sinot rusu(y).
すごい雪だなあ。外に出て私の犬を連れて遊びたいよ。
- 2 エシノツ エトコタ エコロカシケプサンケワ カシケ アン。
e=sinot etoko ta **e=kor kaskep** sanke wa kaske an.
遊ぶ前にあなたの雪かきを出して雪かきしなさいね。
- 3 クコロカシケネイ タ アン？
ku=kor kaskep ney ta an?
私の雪かきどこにあるの？
- 4 クエラムシカレ。 エコロソリ トゥラ ネイ タ カ エオスラ ナンコロ！
ku=eramuskare. **e=kor** ソリ tura ney ta ka e=osura nankor!
知らない！あなたのソリと一緒にどこだかに放り出したんでしょ。
- 5 ピリカワ。 クコロマキリ クエシタン マアシンノ クカンナンコロ。
pirka wa. **ku=kor makiri** ku=estan wa asinno ku=kar nankor.
いいよ。私のナイフを探して新しく作ることにする。
- 6 タントソンノ メアンナ。 エモイレチキ エコロジテンシャ カナニルプシナ。
tanto sonno mean na. e=moyre ciki **e=kor** 自転車 ka nani rupu na.
今日はとても寒いから、もたもたしてるとあなたの自転車もすぐ凍っちゃうよ。

(学習内容とポイント)

「クコロ カシケブku=kor kaskep 私の雪かき」「エコロ シタ e=kor sita 君の犬」など、道具やペットが誰の物かを言い表すには、「コロ kor 持つ」という言葉を使って表現します。

☆前の課に出て来た「私の手」などの表現も、日本語の訳では同じ「～の」ですが、道具などの場合にはコロ kor を使います。どちらでもいいというわけではなく、体の部分なら「ク ku=～」、持ち物などは「クコロ ku=kor～」と言い方が決まっています。

ステップ 72 単語を覚えよう 14

- | | | | |
|----|-------|------------|-------------|
| 1 | トゥレブ | turep | 「ウバユリ」 |
| 2 | シケレペニ | sikerpeni | 「キハダの実」 |
| 3 | プクサ | pukusa | 「ギョウジャニンニク」 |
| 4 | コロコニ | korkoni | 「フキ」 |
| 5 | カルシ | karus | 「キノコ」 |
| 6 | ヌミノカン | numinokan | 「ヤブマメ」 |
| 7 | マウニ | mawni | 「ハマナス」 |
| 8 | チマキナ | cimakina | 「ウド」 |
| 9 | ノヤ | noya | 「ヨモギ」 |
| 10 | プクサキナ | pukusakina | 「ニリンソウ」 |

ステップ73 言葉あそびで覚えよう 14

◇からだの歌 美幌方言版(「静かな湖畔」のふしで)

①パケ	エトゥ	シキ	チャロ	キサラハ	ナヌフ
pake	etu	siki	caro	kisaraha	nanuhu
頭	鼻	目	口	耳	顔

オトピヒ	レクチ	テケヘ	ホニヒ
otopihi	rekuci	tekehe	honihi
髪の毛	首・のど	手	腹

コッカ	パラウレ	チキリ	オソロ
kokka	paraure	cikiri	osoro
ひざ	足首から先	足(全体)	お尻

②アトウポキ	シットケウエ	アシケペチ	アミヒ
atupoki	sittokewe	askepeci	amihi
わき	肘	指	つめ

テッコトロ	レラル	パルンペ	イマキ
tekkotoro	reraru	parunpe	imaki
てのひら	胸	舌	歯

ラル	ハンク	イッケウエ	セトゥル
raru	hanku	ikkewe	seturu
まゆ	へそ	腰	背中

☆「静かな湖畔」のふしにあわせて、からだの各部の呼び方を覚える歌です。
指差したり、動かしたりしながら覚えましょう。

(作成：北原次郎太)

ステップ74 「私の兄さん」「君のおじさん」家族の言い方

(例文)

- 1 ピリカ チヲネワ!ネンカラペネルウェアン?
pirka cip ne wa! nen kar pe ne ruwe an?
かっこいい舟だね!だれが作ったの?
- 2 クコロアチャポ カラペネ。
ku=kor acapo kar pe ne.
私のおじさんが作ったんだよ。
- 3 エコロアチャポ アシカイクルネ。
e=kor acapo askay kur ne.
君のおじさんは器用な人だね。
- 4 ホシキアンパタカラワクユポ コレブネ。
hoski an pa ta kar wa **ku=yupo** kore p ne.
去年作って私の兄さんにくれたんだ。
- 5 クチセオツタアナククコロエカシカラヤッチブノカアン。
ku=cise or ta anak **ku=kor ekasi** kar yarcip noka an.
私のうちには、私のおじいさんが作った樹皮舟の写真があるよ。
- 6 ヌマンクコロフチ コツクエカタクパルウェネ。
numan **ku=kor huci** kor 机 ka ta ku=pa ruwe ne.
きのう私のお婆さんの机の上で見つけたんだ。

家族の呼び方には、体の部分に使う「ク ku = ~」の形と、持ち物に使う「クコロ ku=kor ~」の形のどちらかを使います。美幌方言では、「おじいさん」「おばあさん」は「クコロ ku=kor ~」の形で表現されるのが一般的なようです。一方、「父」「母」や「兄」「姉」、「弟」「妹」などは「ク ku = ~」で表現されるようです。

親族名称一覧

おじいさん	エカシ ekasi	こども	ポ po
おばあさん	フチ huci	むすこ	オッカイポ okkaypo
おとうさん	ミチ mici	むすめ	マツネポ matnepo
おかあさん	ハポ hapo	夫	オク (ホク) oku (hoku)
にいさん	ユポ yupo	妻	マチ maci
ねえさん	サポ sapo	婿	ココ koko
いもうと (姉から)	マタ mataki	嫁	コシマチ kosmaci
いもうと (兄から)	トゥレシ turesi	おい	カラク karku
おとうと	アキ aki	めい	マツカラク matkarku
おじさん	アチャポ acapo	まご	ミツポ mitpo
おばさん	ウナラベ unarpe		

ステップ 75 「～した」「～している」「これから～する」の言い方

(例文)

- 1 タント クルプネウタリ チェプカラワ サツケコロオカイ。エルプネウタリ
カサツチェプカラ？

tanto ku=rupneutari cep kar wa **satke kor okay**. e=rupneutari ka satcep kar a?

今日、うちの親たちは魚をさばいて干しているよ。君の親たちも干し魚を
作ったかい？

- 2 クルプネウタリ ウサ タント チェプサツケ ルウェ ネ。クエトランネ クス
クキラワクエク。

ku=rupneutari usa tanto cep satke ruwe ne. ku=etoranne kusu ku=kira wa ku=ek.

うちの親たちも、今日魚を干したよ。私は嫌だから逃げて来たんだ。

- 3 エキラアルウェ へ？クサポカエトランネワ モコロワアン コロカ(イ)、
クアニアナクカスイ ナンコロ。

e=kira a ruwe he? ku=sapo ka etoranne wa **mokor wa an** korka(y), kuani anak
ku=kasuy **nankor**.

逃げたの？私の姉さんも面倒がって寝てるけど、私は手伝うつもりだよ。

- 4 アリキキエカチエネルウェネ。クアニアナク ライワアン チェプクオカ
ンパカエアikap。

arikiki ekaci e=ne ruwe ne. kuani anak **ray wa an** cep ku=okanpa ka eaykap.

君は働き者の子供だね。私は死んでいる魚をつかむこともできないよ。

(学習内容とポイント)

アイヌ語の動詞は、その言葉が表す動作を「もうした」という意味にも、「今している」、「(これから) ~するところだ」という意味にもなります。それをよりはっきり使い分けるためには、動詞の後ろに「ア a (～し) た」、「ワ アン wa an (～し) ている」、「コロ アン kor an (～し) ている」、「ナンコロ nankor (これから～する) ところだ」といった言葉を続けます。

☆日本語の「(～し) ている」に当たる言い方は2つあります。

クア^アカシ カネ クアン ku=apkas **kane ku=an**. 「私は歩いている。」

クア^シ ワ クアン ku=as **wa ku=an**. 「私は立っている。」

エイバ カネ エアン e=ipe **kane e=an**. 「君は食事している。」

ロカン マ オカイアン rok=an **wa okay=an**. 「私たちは座っている。」

エチカラ カネ エチオカイ eci=kar **kane eci=okay**. 「君たちは作っている。」

エモコロ ワ エアン e=mokor **wa e=an**. 「君は寝ている。」

チャピ エク コロ アン capi ek **kor an**. 「ネコがやって来ている。」

チマキナ トウク ワ アン cimakina tuk **wa an**. 「ウドが生えている。」

※この区別は少し難しいので、言いまわしをセットで覚えてしまう方がいいでしょう。

また、「(～し) ている」の表現を使う時は、コロ kor やワ wa の前と後にある両方の動詞にク ku= やエ e= をつけて (3 人称ならなにもつけないで)、主語を示します。

ステップ 76 「～できる」「～できない」の言い方

(例文)

- 1 チャピ ミカン エ エアシカイ?
capi ミカン e easkay?
ネコってみかん 食べられる?
- 2 ミカン アナクネ エ カ エアイカプ。アトゥイイナウ ネ チキ、
ミカン anakne e ka eaykap. atuy'inaw ne ciki,
みかんは 食べられない。タコだったら、
- 3 エ エアシカイ ハウエ ヘ?
e easkay hawe he?
食べられるの?
- 4 コロカ (イ)、ナニ オパタツチェワ アプカシカ エアイカプ ペネ。
korka(y), nani opatatce wa apkas ka eaykap pe ne.
けれど、すぐにおなか がグルグル なって 歩けなくなる んだ。
- 5 ハウエ ネ チキ、エ カ エアイカプ ナンコロ。
hawe ne ciki, e ka eaykap nankor.
そしたら、食べられない んでしょう。

(学習内容とポイント)

「～ができる」「～ができない」

「～ができる」や「～ができない」は、動詞の後にエアシカイ easkay 「～ができる」とエアイカフ eaykap 「～ができない」をつけて表現します。これは動詞に添えるだけのものなので、クやエを付ける必要はありません。

エアイカフを使う場合には、前にカがつくことが多いようです。これは日本語の「～も」にあたるものですが、エアイカフのほかに～オモ(ソモ)キ omo(somo) ki 「～しない」、イサム isam 「～がない」などの表現とセットで出てきます。このようなときは、無理に訳さない方がわかりやすい日本語になることもあります。

ステップ 77 「～してください」「～してみる」「～したい」の言い方

(例文)

- 1 ハポ、プリン クエルス(イ)。カラワ エネレワエンコレ。
hapo, プリン **ku=e rusu(y)**. kar wa **en=ere wa en=kore**.
お母さん、プリンが食べたいよ。作って食べさせてちょうだい。
- 2 ハウエ ネ チキ ウトゥラノ アンカラ ワ インカラアン。チカプノク ネワ ペ
コアル サンケワエンコレ。
hawe ne ciki uturano **an=kar wa inkar=an**. cikapnok newa pekoaru **sanke wa en=kore**.
それなら一緒に作ってみようか。卵と牛乳を出してちょうだい。
- 3 ホシキノ ペコアル ネワ サトウ アヌコポイエ プネ。タン ペ ネッコノ キ
ワ インカラ。
hoskino pekoaru newa 砂糖 an=ukopoye p ne. tan pe nekkono **ki wa inkar**.
最初に牛乳と砂糖を混ぜるのよ。こうやってやってごらん。
- 4 エ。 クキルス(イ)。
e. **ku=ki rusu(y)**.
うん、やりたい。
- 5 チカプノク ペレワエンコレ。タン ペ ネッコノ ウコポイエ ワ インカラ。
cikapnok **pere wa en=kore**. tan pe nekkono **ukopoye wa inkar**.
卵を割ってちょうだい。こういうふうに混ぜてみて。
- 6 ウカンパ。
ukanpa.
むずかしい。
- 7 レーザーコ オロ オマレワエンコレ。ポンノ エサナケワエイヌ?
冷蔵庫 or **omare wa en=kore**. ponno **e=sapke wa e=inu**?
冷蔵庫に入れてちょうだい。少し味見してみる?

8 クサプケルス(イ)。ソノノルルコロフミアン。

ku=sapke rusu(y). sonno rurkor humi an.

味見したい。とっても甘いなあ。

(学習内容とポイント)

何かをしたいときは、その動詞の後ろにルスイ rusuy 「～したい」をつけます。「出かけたたい」を例にすると次のようになります。

クオマンルスイ。ku=oman rusuy. 「私が出かけたたい」

パイエアンルスイ。paye=an rusuy. 「私たちは出かけたたい」

動詞の後ろにワ エンコレ wa en=kore をつけると「私に (～し) てください」という言い方になります。これも一つの命令文ですから、前の動詞にエ e=「君が」などを付ける必要はありません。「私たちに (～し) てください」というときは、ワ ウンコレ wa un=kore やワ イコレ wa i=kore となります。

日本語の「(～し) てみる」のように、ためしに何かをしてみるというときは、動詞の後にワイヌ wa inu 「～(し) てみる」またはワ インカラ wa inkar 「～(し) てみる」を付けます。「見てみる、作ってみる」などにはインカラ inkar を使い、そのほかの「触ってみる、聞いてみる、味わってみる、考えてみる」などにはイヌ inu を使います。

「～してみなさい」のように相手にうながすときはそのままの形ですが、自分で「～しようと思う」あるいは「～してみた」などと言いたいときは～ワ クイヌ～ wa ku=inu や～ワ クインカラ～ wa ku=inkar とします。

ステップ 78 単語を覚えよう 15

1	ランコ	ranko	「カツラ」
2	プシニ	pusni	「ドスナラ (ハシドイ)」
3	メシコ	mesko	「クルミ」
4	ラスパ	rasupa	「サビタ (ノリウツギ)」
5	スンク	sunku	「エゾマツ」
6	フブ	hup	「トドマツ」
7	コムニ	komni	「カシワ」
8	アツニ	atni	「オヒョウ」
9	クペレケプニ	kuperkepni	「シナ」
10	トペンニ	topenni	「イタヤ」

ステップ 79 言葉あそびで覚えよう 15

◇アイヌ語版「赤鼻のトナカイ」

“エトゥフレルトルフ ミケミケ エトゥフ！”

“etu hure rutoruhu mikemike etuhu!”

“赤鼻のルドルフの ぴかぴかの鼻ったら！”

エヌカラ ヤクン ネノ エヤイヌ ナンコロ

e=nukar yakun neno e=yaynu nankor

君も見たら きっとそう思うだろう

モシマ トウナハカイ ウタラ ウェンノ エミナ

mosma tunahkay utar wenna emina

ほかのトナカイたちは ひどく笑って

トゥラノ シノッ ポカ ソモ キルウェ ネ

turano sinot poka sono ki ruwe ne

いっしょに遊ぶことも しなかったんだ

ウランラン アンチカッタ サンタエカシ

uranran ancikar ta santa ekasi

霧のふかい夜に サンタのおじいさんが

“ミケミケエエトゥ クニスクナ” アリ ハウエアン

“mikemike e=etu ku=nisuk na” ari hawean

“ぴかぴかのお前の鼻が 頼りだよ” といった

モシマ トウナハカイ ウタラ ヤイカタヌ キワ

mosma tunahkay utar yaykatanu ki wa

ほかのトナカイたちは おそれいって

ヤイレнка トウラノ ルトルフ ラムイェ

yayrenka turano rutoruhu ramuye

喜びとともに ルドルフをたたえた

☆クリスマスソングのアイヌ語訳です。英語の歌詞を元に主として幌別方言で訳したものです。

(アイヌ語訳：平成 21～23 年度アイヌ文化担い手育成事業 講師・受講者)

テキスト作成にあたって参考とした主な文献を以下にあげます。

- 萱野茂（1996）『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂．
佐藤知己（2008）『アイヌ語文法の基礎』大学書林．
知里真志保（1973-74）『知里真志保著作集』1-4巻,別巻1-2巻．平凡社．
中川裕（1995）『アイヌ語千歳方言辞典』草風館．
中川裕、中本ムツ子（1997）『エクスプレス アイヌ語』白水社．
中川裕、中本ムツ子（2007）『カムイユカラでアイヌ語を学ぶ』白水社．
田村すず子（1996）『アイヌ語沙流方言辞典』草風館．
田村すず子（1997）「アイヌ語」『日本列島の言語』三省堂．
服部四郎（編）（1964）『アイヌ語方言辞典』岩波書店．
北海道ウタリ協会（編）（1994）『アコロイタク AKOR ITAK アイヌ語テキスト 1』クルーズ．

なぞなぞの答え

ステップ 6	①チカフノケ	cikapnok	「鳥の卵」
	②キサラ	kisar	「耳」
ステップ 10	①ニマキ	nimaki	「歯」
	②ラウラウ	rawraw	「コウライテンナンショウ」

初級アイヌ語　－美幌－

発行年月　2011年3月

発行　財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7

TEL (011) 271-4171　FAX (011) 271 - 4181

URL <http://www.frpac.or.jp/>　E-mail: ainu@frpac.or.jp